

学校の教育目標	「一人一人が自立し、幸せに満ちた学校」、「社会に貢献できる幅広い人材の育成」 1 「自立貢献」を目指す理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実践する。 2 確かな学力と表現する力の育成を図り、生徒一人一人に明確な目標を持たせ、個性と自立心を伸長させる。 3 自制心、向上心、共感性等を育てる教育活動を通して、非認知能力の育成に努め、地域や社会に貢献できる心豊かな人間を育成する。 4 特別活動等の活性化と魅力ある学校づくりを推進し、地域から信頼され、選ばれる学校を目指す。 5 生徒ひとりひとりの人権を尊重し、生徒・職員が相互に人格を認め合ういじめのない環境をつくる。
---------	---

教科の目標	○日常で使用する国語的な基礎的・基本的な知識・技能を身につけることができる。（知識及び技能） ○国語的な思考力・判断力を養い、文章作成や読解に役立てることができる。（思考力、判断力、表現力等） ○自主的・意欲的に、情報を調べ、取捨選択し、活用する能力や態度が身につく。（学びに向かう力、人間性等）
-------	--

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)
国語表現	2	全日制・普通科・2学年	国表701／国語表現(大修館書店)

科目の目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語力の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。		
-------	---	--	--

時期 月 週	単元名	領域	指導 時数	単元で育成する資質・能力 ＜単元の評価規準＞	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科等 横断的な視点等
4月	【第2部】表現を楽しむ 1 言葉で遊ぶ	B書くこと	2	【知識・技能】 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、言葉遊びの中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 ・回文や折句、しりとりや語呂合わせなどの表現の技法について理解を深め使っている。〔(1)オ〕	・観察 ・ノート（ワークシート） ・小テスト	・さまざまな言葉遊びをとおして、言葉に興味をもち、語彙を広げて、言語感覚を豊かにする。	・さまざまな言葉遊びをとおして、言葉に興味をもち、語彙を広げて、言語感覚を豊かにする。	
	【第2部】表現を楽しむ 7 たほいやゲームをしよう			【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて適切な題材を決め、語句や表現の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・さまざまな言葉遊びに興味をもち、意欲的に活動に取り組もうとしている。				
5月	【第1部】表現力を培う 1 言葉と出会う レッスン1 言葉と表記	B書くこと	2	【知識・技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。〔(1)ア〕 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕	・観察 ・ノート（ワークシート） ・小テスト	・表記の決まりを意識し、正しく書く。 ・漢字や慣用表現を正しく使う。	・表記の決まりを意識し、正しく書く。 ・漢字や慣用表現を正しく使う。	
	【第1部】表現力を培う 1 言葉と出会う レッスン2 整った文を書く			【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。〔B(1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。				
		B書くこと	2	【知識・技能】 ・書き言葉の特徴について理解を深め、係り受けを整えたり文末表現を統一したりすることについて理解している。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするために、係り受けや文末表現の統一を正確に理解して、表現のしかたを工夫している。〔B(1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・練習問題を解くことをとおして、文を整えて書く学習に対して積極的に取り組もうとしている。	・観察 ・ノート（ワークシート） ・小テスト	・係り受けについて理解する。 ・文末表現について理解する。	・係り受けについて理解する。 ・文末表現について理解する。	

	【第1部】表現力を培う 1 言葉と出会う レッスン3 相手に応じた言葉遣い	A 話すこと・聞くこと	3	【知識・技能】 - 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解し、適切に使い分けしている。〔(1)イ〕 - 語彙の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、事象を的確に描写したり説明したりするために、相手に応じた言葉遣いを的確に使い分けしている。〔B (1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 - 相手に応じた言葉を使い分けることについて、積極的に取り組もうとしている。	- 観察 - ノート（ワークシート） - 小テスト	- 敬語について正しい理解をもち、その使い分けについて理解する。 - 話し言葉と書き言葉の違いや、その使い分けについて理解する。 - 和語・漢語・外来語のニュアンスの違いと、その使い分けについて理解する。	- 敬語について正しい理解をもち、その使い分けについて理解する。 - 話し言葉と書き言葉の違いや、その使い分けについて理解する。 - 和語・漢語・外来語のニュアンスの違いと、その使い分けについて理解する。	
6月	【第1部】表現力を培う 1 言葉と出会う レッスン4 わかりやすい文を書く	B 書くこと	3	【知識・技能】 - 書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や手段に応じた適切でわかりやすい文を書く方法を理解している。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、長すぎる文やあいまいな文を避け、読点を適切に用いるなど、工夫している。〔B (1)オ〕 「書くこと」において、自分が書いた文や文章が、読み手にわかりやすく伝わるかどうかを吟味し、表現全体を整えたり、読点の打ち方を工夫したりしている。〔B (1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 - 練習問題を解くことで、わかりやすい文にする学習に積極的に取り組もうとしている。	- 観察 - ノート（ワークシート） - 小テスト	- 長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 - 読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。	- 長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 - 読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。	
	【第1部】表現力を培う 1 言葉と出会う レッスン5 文のつながり	B 書くこと	3	【知識・技能】 - 自分の思いや考えを多彩に表現するために、接続表現の種類と働きを知り、文章の中で適切に用いている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように、接続表現の使い方を吟味し、文章全体を整えている。〔B (1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 「接続表現クイズ」を解くことをとおして、文と文のつながりに着目した学習に対して積極的に取り組もうとしている。	- 観察 - ノート（ワークシート） - 小テスト	- 接続表現の種類と働きを理解する。 - 文脈による文のつながりを理解する。	- 接続表現の種類と働きを理解する。 - 文脈による文のつながりを理解する。	
7月	■実践トレーニング① 【表現への扉】使える言葉を増やそう／敬語は言葉の身だしなみ／論理的な表現とは？	B 書くこと	3	【知識・技能】 - 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。〔(1)イ〕 - 自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 - 読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題をとらえ直したりしている。〔B (1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 - 単元1のまとめとしての設問に積極的に取り組もうとしている。	- 観察 - ノート（ワークシート）	- 言葉と表記、係り受け、文末表現の統一、接続表現の使い方などを意識し、より適切な表現になるように吟味する。 - 原稿用紙の使い方を理解する。	言葉と表記、係り受け、文末表現の統一、接続表現の使い方などを意識し、より適切な表現になるように吟味する。	
	2 伝える、伝え合う レッスン1 自己紹介ゲーム	A 話すこと・聞くこと	2	【知識・技能】 - 話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、自己紹介している。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、内容を検討している。〔A (1)ア〕 「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、同意や共感が得られるよう表現を工夫している。〔A (1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 - ゲームをとおして言葉で伝え合うことを楽しみ、基礎的な対話活動に前向きに取り組もうとしている。	- 観察 - ノート（ワークシート） - 小テスト	- 自己紹介のやりとりをとおして相互理解を図る。 - 取り上げる内容や話し方を工夫して、わかりやすく自己紹介をする。	- 自己紹介のやりとりをとおして相互理解を図る。 - 取り上げる内容や話し方を工夫して、わかりやすく自己紹介をする。	

7月	2 伝える、伝え合う レッスン2 言葉のストレッチ 体操 【表現への扉】「それでいいです」／意図理解の難しさ	A話すこと・聞くこと	2	【知識・技能】 ・話し言葉や非言語的表現の特徴と役割について理解を深め、目的や場面に応じた適切な表現を理解している。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。〔A (1)エ〕 ・「話すこと・聞くこと」において、視点を明確にして聞きながら、共感を伝えたり相手の思いや考えを引き出したりしている。〔A (1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・伝え合うことの楽しさを知り、積極的にコミュニケーションに取り組もうとしている。	・観察 ・ノート（ワークシート） ・小テスト	・聞くこと・話すこと、伝え合うことを見つめ直し、コミュニケーションに対する意識をもつ。 ・コミュニケーションの楽しさを知り、積極的にコミュニケーションに取り組む姿勢をもつ。	・聞くこと・話すこと、伝え合うことを見つめ直し、コミュニケーションに対する意識をもつ。 ・コミュニケーションの楽しさを知り、積極的にコミュニケーションに取り組む姿勢をもつ。	【表現への扉】「それでいいです」／意図理解の難しさ
9月	【第2部】表現を楽しむ 2 無人島で生き残れ	A話すこと・聞くこと	2	【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。〔A (1)ウ〕 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの主張や論拠を吟味したり、話し合いの進行や展開を助けたりするために発言を工夫するなど、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いのしかたや結論の出し方を工夫している。〔A (1)キ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・話し合いによって課題を解決するゲーム的活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ノート（ワークシート） ・小テスト	・課題を解決するために、建設的に話し合う。 ・積極的に話し合いに参加し、他者の意見を尊重しつつ自分の意見を適切に述べる。	・課題を解決するために、建設的に話し合う。 ・積極的に話し合いに参加し、他者の意見を尊重しつつ自分の意見を適切に述べる。	
	【第1部】表現力を培う 4 自己PRと面接 レッスン1 自分を見つめて	B書くこと	4	【知識・技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。〔A (1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分のこれまでの人生を振り返ってまとめる活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ノート（ワークシート） ・小テスト	・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 ・他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。	・他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。	
10月	【第1部】表現力を培う 4 自己PRと面接 レッスン2 効果的な自己PR	A話すこと・聞くこと	6	【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。〔A (1)ア〕 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。〔A (1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・効果的な自己PRをすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ノート（ワークシート） ・小テスト	・自分の特長を端的に表現し、印象に残る自己PRの原稿を書く。 ・事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。	・自分の特長を端的に表現し、印象に残る自己PRの原稿を書く。 ・事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。	
	【第1部】表現力を培う 4 自己PRと面接 レッスン3 将来の自分を考えよう 【表現への扉】働く人の姿／なりたい「モデル」を見つけよう／データを読む⑨／データを読む⑩	B書くこと	6	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の職業や自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1)ア〕 ・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。〔B (1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の将来を考えたり職業について調べてまとめたりする活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ノート（ワークシート） ・小テスト	・就きたい職業に就くために必要なことを、適切な方法で調べる。 ・調べたことをふまえて、「将来の自分」について文章にまとめる。	・調べたことをふまえて、「将来の自分」について文章にまとめる。	【表現への扉】働く人の姿／なりたい「モデル」を見つけよう／データを読む⑨／データを読む⑩
11月	6 会話・議論・発表 レッスン1 相手や場面に応じた会話	A話すこと・聞くこと	2	【知識・技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応や場の状況に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。〔A (1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・相手や場面に応じた会話をすることに興味をもち、意欲的に活動に取り組もうとしている。	・観察 ・ノート（ワークシート） ・小テスト	・場面にふさわしい言葉遣いを考える。 ・適切な言葉遣いでロールプレイをする。	・場面にふさわしい言葉遣いを考える。 ・適切な言葉遣いでロールプレイをする。	
	【第2部】表現を楽しむ 6 働く人にインタビュー	A話すこと・聞くこと	6	【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、視点を明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。〔A (1)カ〕 ・「書くこと」において、異なる世代の人や初対面の人にインタビューをするなどして聞いたことを、報告書などにまとめている。〔B (2)カ〕	・観察 ・ノート（ワークシート） ・小テスト	・聞きたいことを明確にし、質問のしかたや話し方を工夫しながらインタビューする。 ・聞き取ったことを整理し、効果的な伝え方を工夫して文章にまとめる。	・聞きたいことを明確にし、質問のしかたや話し方を工夫しながらインタビューする。 ・聞き取ったことを整理し、効果的な伝え方を工夫して文章にまとめる。	

				【主体的に学習に取り組む態度】 ・インタビュー活動に興味をもち、意欲的に活動に取り組もうとしている。				
12月	【第1部】表現力を培う 6 会話・議論・発表 レッスン2 建設的な議論の進め方	A 話すこと・聞くこと	2	【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、論点を明確にして自分の考えと比較しながら聞き、聞き取った情報を吟味して自分の考えを広げたり深めたりしている。[A (1)オ] ・「話すこと・聞くこと」において、話し合いの目的に応じて議論をし、話し合いのしかたや結論の出し方について工夫したり、批評したりしている。[A (1)キ、(2)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・話し合いをよりよく進めることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ノート（ワークシート） ・小テスト	・話し合いのステップを意識しながら話し合いに参加し、建設的な議論になるように協力し合う。 ・話し合いに積極的に参加し、結論を出すために貢献する。	・話し合いのステップを意識しながら話し合いに参加し、建設的な議論になるように協力し合う。 ・話し合いに積極的に参加し、結論を出すために貢献する。	
1月	3 小論文・レポート入門 レッスン1 小論文とは何か	B 書くこと	4	【知識・技能】 ・小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。[(1)エ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いて論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。[B (1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・小論文と感想文の違いをふまえ、小論文を書くことに関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ノート（ワークシート） ・小テスト	・小論文の基本的な書き方を理解する。 ・意見を筋道を立てて書く。 ・原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。	・小論文の基本的な書き方を理解する。 ・意見を筋道を立てて書く。 ・原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。	
2月	3 小論文・レポート入門 レッスン2 反論を想定して書く 【表現への扉】「再生」は日常生活から／時代の気分、言葉の温度／藤井新棋聖	B 書くこと	8	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、説得力のある理由を吟味して、伝えたいことを明確にしている。[B (1)ア] ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。[B (1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・反論を想定し、説得力を高めた小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ノート（ワークシート） ・小テスト	・反論を想定して小論文を書くことの意味を理解する。 ・反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書く。	・反論を想定して小論文を書くことの意味を理解する。 ・反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書く。	【表現への扉】 「再生」は日常生活から／時代の気分、言葉の温度／藤井新棋聖
	6 会話・議論・発表 レッスン3 スピーチをしよう	A 話すこと・聞くこと	3	【知識・技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。[(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、情報を収集、整理して、内容を検討している。[A (1)ア] ・「話すこと・聞くこと」において、聴衆に対してスピーチをしたり、それらを聞いて批評したりしている。[A (2)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スピーチをすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ノート（ワークシート） ・小テスト	・話すことの順序を考えて、わかりやすいショートスピーチをする。 ・話し手が話しやすい聞き方をする。	・話すことの順序を考えて、わかりやすいショートスピーチをする。 ・話し手が話しやすい聞き方をする。	
3月	【第2部】表現を楽しむ 11 演説合戦にチャレンジ	A 話すこと・聞くこと	3	【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、適切な情報や根拠を効果的に用いるとともに、相手の反論を想定して論理の展開を考えるなど、話の構成や説明資料を工夫している。[A (1)イ] ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えと比較しながら聞き、聞き取った情報を吟味して自分の考えを広げたり深めたりしている。[A (1)オ] ・「話すこと・聞くこと」において、話し合いの目的に応じて議論や討論を行い、話し合いのしかたや結論の出し方について批評している。[A (2)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・演説合戦の活動に意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ノート（ワークシート）	・説得力のある主張をするために、必要な情報を集めたり、構成や説明資料を工夫したりする。 ・聴衆を説得することができるように、効果的に話す。	・説得力のある主張をするために、必要な情報を集めたり、構成や説明資料を工夫したりする。 ・聴衆を説得することができるように、効果的に話す。	
領域ごとの計指導	話すこと・聞くこと		31					
	書くこと		39					
	読むこと							
指導時間数の合計			70					

学校の教育目標	「一人一人が自立し、幸せに満ちた学校」、「社会に貢献できる幅広い人材の育成」 1 「自立貢献」を目指す理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実践する。 2 確かな学力と表現する力の育成を図り、生徒一人一人に明確な目標を持たせ、個性と自立心を伸長させる。 3 自制心、向上心、共感性等を育てる教育活動を通して、非認知能力の育成に努め、地域や社会に貢献できる心豊かな人間を育成する。 4 特別活動等の活性化と魅力ある学校づくりを推進し、地域から信頼され、選ばれる学校を目指す。 5 生徒ひとりひとりの人権を尊重し、生徒・職員が相互に人格を認め合ういいじめのない環境をつくる。
---------	--

教科の目標	○日常で使用する国語的な基礎的・基本的な知識・技能を身につけることができる。（知識及び技能） ○国語的な思考力・判断力を養い、文章作成や読解に役立てることができる。（思考力、判断力、表現力等） ○自主的・意欲的に、情報を調べ、取捨選択し、活用する能力や態度が身につく。（学びに向かう力、人間性等）
-------	--

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)
論理国語	2	全日制・普通科・2学年	論国708 論理国語(数研)

科目の目標	○ 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。（知識及び技能） ○ 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。（思考力・判断力・表現力等） ○ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。（学びに向かう力人間性等）
-------	---

時期 月 週	単元名		指導 時数	単元で育成する資質・能力 ＜単元の評価規準＞	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科等 横断的な視点等
4月	弱いつながり	B読むこと	6	① 知識・技能 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 ② 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している〔B(1)エ〕 ③ 主体的に学習に取り組む態度 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	記述の点検 (ノート)	・意味段落のまとまりを意識して読み、各段落の内容、および文章全体の構成をとらえる。 ・筆者の言う「弱い絆」をつくるにはどうしたらよいか、自分の考えをまとめる。	筆者の主張を読み取り、現代社会の傾向をふまえて筆者がどのように主張する理由を考察する。	
5月	手の変幻	A書くこと B読むこと	6	① 知識・技能 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 ② 思考・判断・表現 「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。〔A(1)ウ〕 ③ 主体的に学習に取り組む態度 課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	記述の確認	・文章中の抽象的な表現の内容を踏まえ、筆者の「芸術」についての考え方に対する自分の考えを述べる。 ・逆説的な表現の内容を理解する。	筆者の逆説的言説を理解したうえで、異なる事例を考え、論理的に説明する。	
6月	「内的成長」社会へ	B読むこと	6	① 知識・技能 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 ② 思考・判断・表現 「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。〔B(1)オ〕 ③ 主体的に学習に取り組む態度 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	行動の確認	・現代日本社会における「中間社会」の現状と課題を読み取る。 ・哲学的な意味を持つ語句について、その内容を理解する。	論理的な文章を読んで、筆者の考えに合う具体例を考え発表する。	
7月	【探究の扉】 ニュースとコミュニケーション	B読むこと	6	① 知識・技能 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 ② 思考・判断・表現 「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。〔B(1)キ〕 ③ 主体的に学習に取り組む態度 筆者の意見を参考にしながら、積極的に根拠や具体例を用いて文章を構成し、学習課題に沿って自分の意見をまとめようとしている。	記述の確認	・言葉の性質についての筆者の考えを読み取る。 ・筆者の主張を踏まえ、事物を抽象的にとらえることの利点がわかる具体的事例を日常生活の中から考える。	論理的な文章を読んで、筆者の考えに合う具体例を考え発表する。	
9月	未来世代への責任	B読むこと	8	① 知識・技能 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。〔(2)ア〕 ② 思考・判断・表現 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。〔B(1)カ〕 ③ 主体的に学習に取り組む態度 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	記述の確認	・対談の文章を読み、それぞれの考えの共通点を読み取る。 ・「桶」という比喻に込められた意図について考える。	論理的な文章を読み、筆者の考えを踏まえて自分の意見を書く。	
				① 知識・技能 推論の仕方について理解を深め使っている。〔(2)ウ〕	行動の確認	・「メディア」と「スポーツ」の関係から活動の総体としての「社会」を導くという文章展開をとらえる。 ・文章中の比喩表現や強調表現	論理的な文章を読み、筆者の考えをふまえて話し合う。	

10月	消費されるスポーツ	B読むこと	7	② 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。〔B(1)イ〕		・人々の精神状態や表現の内容を理解する。 ・文章内容をWEB記事の内容と関連づけて考察する。	
				③ 主体的に学習に取り組む態度 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。			
11月～12月	報告書を書く	A書くこと	6	① 知識・技能 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。〔(1)エ〕	行動の確認	・人々の精神状態を「安楽への隷属」と表現する筆者の意図を読み取る。 ・筆者の考えを踏まえ、現代社会についての自分の考えを具体例とともに論述する。	現代社会の状況を分析し、文章構成を工夫して自分の意見を述べる。
				② 思考・判断・表現 「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫する。〔A(1)ウ〕			
				③ 主体的に学習に取り組む態度 課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。			
12月～1月	「安楽」への全体主義	B読むこと A書くこと	6	① 知識・技能 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。〔(1)エ〕	行動の確認	・人々の精神状態を「安楽への隷属」と表現する筆者の意図を読み取る。 ・筆者の考えを踏まえ、現代社会についての自分の考えを具体例とともに論述する。	現代社会の状況を分析し、文章構成を工夫して自分の意見を述べる。
				② 思考・判断・表現 「書くこと」において、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。〔A(1)イ〕			
				③ 主体的に学習に取り組む態度 調査内容の整理とともに課題を粘り強く検討し、報告書の形式に沿って調査結果を明確に示そうとしている。			
2月～3月	現代日本の開化・漱石が生きた時代	A書くこと	7	① 知識・技能 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。〔(2)ア〕	記述の確認	・夏目漱石の講演録と、漱石の時代について考察した文章を関連づけて読む。 ・時代背景が人間や作品に与える影響について考え、論述する。	二つの文章の内容を踏まえて、自分の考えをまとめる。
				② 思考・判断・表現 「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。〔A(1)ア〕			
				③ 主体的に学習に取り組む態度 課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。			
領域ごとの指導時間数の計	話すこと・聞くこと		0				
	書くこと		25				
	読むこと		45				
指導時間数の合計			70				

学校の教育目標	「一人一人が自立し、幸せに満ちた学校」、「社会に貢献できる幅広い人材の育成」 1 「自立貢献」を目指す理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実践する。 2 確かな学力と表現する力の育成を図り、生徒一人一人に明確な目標を持たせ、個性と自立心を伸長させる。 3 自制心、向上心、共感性等を育てる教育活動を通して、非認知能力の育成に努め、地域や社会に貢献できる心豊かな人間を育成する。 4 特別活動等の活性化と魅力ある学校づくりを推進し、地域から信頼され、選ばれる学校を目指す。 5 生徒ひとりひとりの人権を尊重し、生徒・職員が相互に人格を認め合ういじめのない環境をつくる。
---------	---

教科の目標	○何を理解しているか、何ができるか(知識及び技能) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。 ○理解していること・できることをどう使うか(思考力、判断力、表現力等) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。 ○どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか(学びに向かう力、人間性等) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
-------	--

科目名		単位数	課程・学科・学年		使用教科書名(出版社)		
日本史探究		2	全日制・普通科・2学年(Ⅰ類)		日本史探究(実教出版)		
科目の目標		社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。					
時期 月 週 日	単 元・題 材 名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資 質・能力の育成に関わ る他教科等との関連
4月	第1部 第1章 日本文化のあけぼの 1 日本列島最古の文化 2 縄文自体の社会と文化 3 弥生時代の社会と文化	4	① 知識・技能 日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解している。 ② 思考・判断・表現 小国の形成について、環濠集落や武器の出現、「魏志」倭人伝などの文献資料にもとづき、国内外の情勢を踏まえて多角的に考察している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化や縄文文化の特色を明らかにしようとしている。	ふり返しシート 定期考査 ふり返しシート 自由議論、発表 定期考査 ふり返しシート 授業観察	・打製石器・磨製石器・縄文土器の発掘、竪穴住居の状況など考古学の成果によって教科書の叙述が成り立っていることに気づく。 ・大陸からの稲作伝播の様子や地域性の顕著な道具の分布を踏まえて、弥生文化の形成を考察する。	・グループ活動 ・自由議論、発表	
4月～ 5月	第2章 ヤマト政権の成立と古墳文化 1 小国の分立と邪馬台国 2 古墳の出現とヤマト政権の成立 3 ヤマト政権の展開と統治の進展 4 古墳時代の生活と文化	6	① 知識・技能 国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解している。 ② 思考・判断・表現 中国の歴史書の記事、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国・朝鮮との交渉や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成について考察することを通じ、古墳文化の展開とのつながりを見出そうとしている。	ふり返しシート 定期考査 ふり返しシート 自由議論、発表 定期考査 ふり返しシート 授業観察	・地域の首長の出現から統一国家に至る過程を、古墳の変容からとらえる。 ・ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。	・グループ活動 ・自由議論、発表	
5月 ～6月	第3章 律令国家の形成 1 古代国家の形成 2 飛鳥・白鳳文化 3 律令制度 4 奈良時代の政治 5 天平文化 第4章 古代の国家・社会の変容 1 律令体制再編期の政治と社会	8	① 知識・技能 隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解している。 ② 思考・判断・表現 天智朝・天武朝・持統朝の政治動向に着目して、律令体制整備の過程について考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 隋・唐などの中国王朝から導入された文化を考察し、政治や社会の動きとのつながりを見出そうとしている。	ふり返しシート 定期考査 ふり返しシート 自由議論、発表 定期考査 ふり返しシート 授業観察	・律令国家が成立するまでの政治過程について考察する。 ・律令体制の完成期としての奈良時代を、律令体制の状況を多角的・多面的にとらえて考察する。 天平文化における政治性と国際性、国家仏教の展開などに着目して、古代国家の展開を理解する。 ・平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北経営や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変質を考察する。	・グループ活動 ・自由議論、発表	
7月	第4章 古代の国家。社会の変容 2 摂関政治の成立と支配体制の転換 3 国風文化	5	① 知識・技能 藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。 ② 思考・判断・表現 武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 古代後期の情勢を種々の資料を活用して理解に努めようとしている。	ふり返しシート 定期考査 ふり返しシート 自由議論、発表 定期考査 ふり返しシート 授業観察	・藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察する。 ・摂関政治の在り方と文化の展開に、どのような関係があるかを考察する。 ・地方の反乱やその鎮圧など、武士の成長過程について、源氏などを例にとって考察する。 ・「国風」のなかに「中国文化」の影響があることに着目して個々の作品を理解する。	・グループ活動 ・自由議論、発表	
9月	第2部中世の日本と世界 第1章 荘園公領制の成立と院政 第2章 中世の国家・社会の展開 1 鎌倉幕府の成立と朝廷 2 中世に生きる人々 3 蒙古襲来と幕府の衰退 4 鎌倉文化	10	① 知識・技能 貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。 ② 思考・判断・表現 武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。	ふり返しシート 定期考査 ふり返しシート 自由議論、発表 定期考査 ふり返しシート 授業観察	・院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。 ・政治の動向、国際関係・経済・文化への対応を踏まえて、平氏政権の特性を考察する。 ・鎌倉幕府の展開を種々の資料を活用し、古代との比較を通して理解する。 ・庶民や武士の活動が活発化し、鎌倉仏教が成立するなど、文化の新しい気運が生まれたことを理解する。	・グループ活動 ・自由議論、発表	

10月	第3章 中世の国家・社会の変容 1 南北朝の動乱 2 室町幕府の政治と外交 3 室町社会の展開と応仁の乱 4 室町文化	10	① 知識・技能 鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解している。 ② 思考・判断・表現 室町時代の文化の特徴と、当時の政治や経済の動向との関係を多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 15世紀から16世紀にかけて争乱が多発した理由など、戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追究しようとしている。	ふり返しシート 定期考査 ふり返しシート 自由議論、発表 定期考査 ふり返しシート 授業観察	・南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。 ・諸産業の発達による庶民の台頭を踏まえて、中世社会の多様な展開を幅広く理解する。 ・応仁の乱以降、地方権力として登場した戦国大名や各地に展開した都市について、諸地域の地理的条件と関連づけて考察する。	・グループ活動 ・自由議論、発表	
11月	第3部 近世の日本と社会 第1章 東アジア世界の変容と天下統一 1 織豊政権 2 天下統一の完成 3 近世成立期の文化	8	① 知識・技能 守護大名と戦国大名の権力の相違点などについて諸資料から情報を読み取り、戦国時代の大名による領国経営の特徴を理解している。 ② 思考・判断・表現 織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 桃山文化の特色について、中世文化の特色との比較を通じて、その類似と差異を見出そうとしている。	ふり返しシート 定期考査 ふり返しシート 自由議論、発表 定期考査 ふり返しシート 授業観察	・織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について理解する。 ・大航海時代と呼ばれる世界的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。 ・新興の大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、町衆の生活にも着目し、時代的背景を踏まえて考察する。	・グループ活動 ・自由議論、発表	
12月	第2章 幕藩体制の成立と展開 1 幕藩体制の成立 2 貿易の統制と対外関係 3 近世社会のしくみ	6	① 知識・技能 織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して、諸資料をもとに江戸幕府の法や制度の確立や対外政策の推移について理解している。 ② 思考・判断・表現 織豊政権と幕府の支配の構造の相違点や、江戸幕府による貿易統制の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 幕藩体制が確立する過程における様々な画期について考察し、主体的に追究しようとしている。	ふり返しシート 定期考査 ふり返しシート 自由議論、発表 定期考査 授業態度	・江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を理解する。 ・江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を理解する。	・グループ活動 ・自由議論、発表	
1月	第2章 幕藩体制の成立と展開) 4 幕府政治の展開 5 経済の発展 6 元禄文化と学芸の発展	6	① 知識・技能 諸資料から情報を適切に読み取り、文治政治への転換から元禄時代・正徳期に至る政治の推移について理解している。 ② 思考・判断・表現 陸上・水上における交通や流通の発達と、農業・工業・商業などの発達との関連を多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 幕藩体制が安定していく中での経済の動向と上方の豪商との関係性を踏まえ、17世紀の文化の特色を明らかにしようとしている。	ふり返しシート 定期考査 ふり返しシート 自由議論、発表 定期考査 ふり返しシート 授業観察	・17世紀後半から18世紀前半までの江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。 ・幕藩体制の安定期の農業・商工業などの発展について、諸産業相互の関係やその社会的役割を踏まえて考察する。 ・経済の発展と関連して町人文化が形成されたことについて、町人の社会的台頭や幕藩体制の安定と関連させて理解する。	・グループ活動 ・自由議論、発表	
2月～3月	第3章 近世の国家・社会の変容) 1 幕藩体制の動揺と幕政の改革 2 欧米列強の接近と天保の改革 3 近世社会の成熟と変容	7	① 知識・技能 享保の改革から天保の改革までの政治の推移を軸に外交・経済・社会・文化事象を理解している。 ② 思考・判断・表現 各改革の内容や欧米列強の接近を深い資料の読み取りによって把握し、比較しながら理解している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 江戸前期からの違いや近代への予兆を感じ、明らかにしようとしている。	ふり返しシート 定期考査 ふり返しシート 自由議論、発表 定期考査 ふり返しシート 授業観察	・18世紀前半からの改革について、時代の諸相、社会の変化を念頭に、種々の資料を活用して比較しながら理解を深める。	・グループ活動 ・自由議論、発表	
指導時間数の計		70					

6月～ 7月	第2章 公共的な空間における基本 原理 第1節 民主社会の基本原 理 第2節 日本社会の基本原 理	10	① 知識・技能 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解できている。 ・日本国憲法の基本原理や保障されている権利が理解できている。 ② 思考・判断・表現 ・このような基本的原理を考察することによって、個人と社会との関わりを多面的・多角的に考察することができている。 ・日本国憲法の基礎にある考え方に着目し、公共的な空間における基本的原理との関連を考察することができている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・民主政治が自らの生活とかかわっていることを理解し、民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められている。 ・日本国憲法で保障されている権利が理解でき、自らの生き方と権利を結びつけることができている。	定期考査	○人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理、日本国憲法の基本原理や保障されている権利を理解する。 ○個人と社会との関わりを多面的・多角的に考察する。日本国憲法の基礎にある考え方に着目し、公共的な空間における基本的原理との関連を考察する。	・グループ活動 ・プレゼン、発表 ・レポート提出	
9月	第3章 ルールをつくり守る私たち 第1節 法と契約 第2節 司法参加の意義	6	① 知識・技能 ・法や規範の意義や役割が理解できている。 ・公正な裁判には司法権の独立が必要であり、国民の参加が大切であることが理解できている。 ② 思考・判断・表現 ・日常の買い物や銀行のクレジットカードなど、身近な契約の例を挙げることができる。 ・裁判員制度がどのような目的で創設されたかを考察できている。 ・裁判によって国民のどのような権利が守られているのか考察できている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・身近な紛争状況を設定し、それを解決するためのルール作りを体験的に行うことができる。 ・模擬裁判などを通して、司法に関心を持ち裁判員制度の意義をふまえ積極的に参画する自覚を持つことができている。	定期考査	○法や規範の意義や役割、公正な裁判には司法権の独立が必要であり、国民の参加が大切であることを理解する。 ○日常の買い物や銀行のクレジットカードなど、身近な契約の例を挙げる。 ○裁判員制度がどのような目的で創設された、裁判によって国民のどのような権利が守られているのか考察する。	・グループ活動 ・プレゼン、発表 ・レポート提出	
9月～ 10月	第4章 政治に参加する私たち 第1節 政治参加と民主政治の課題	4	① 知識・技能 ・地方自治や選挙の仕組み、政党の役割を考察することによって具体的に民主政治を支える制度を理解できている。 ② 思考・判断・表現 ・選挙制度の違いによって、政党制にも大きな違いがでてくることを考察できている。 ・自分が理想とする選挙制度を選択することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・模擬投票などを通して、選挙に積極的に参加するなど主権者としての自覚を持つことができている。	定期考査	○具体的に民主政治を支える制度、国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割、国際連盟・国際連合の組織と役割、冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れ、国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割、核軍拡から核軍縮への流れ、現代の世界の紛争や人権問題について理解する。	・グループ活動 ・プレゼン、発表 ・レポート提出	
10月	第4章 政治に参加する私たち 第2節 国際政治の動向	3	① 知識・技能 ・国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割が理解できている。 ・国際連盟・国際連合の組織と役割が理解できている。 ・冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れが理解できている。 ② 思考・判断・表現 ・集団的安全保障がなぜ有効なのか考察できている。 ・国連の現状と課題について考察できている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・日々報道される世界の国際紛争に関心が持てている。 ・それぞれの紛争の解決への筋道は何か提示することができている。	定期考査	○選挙制度の違いによって、政党制にも大きな違いがでてくること、集団的安全保障がなぜ有効なのか、国連の現状と課題について考察する。	・グループ活動 ・プレゼン、発表 ・レポート提出	
10月～ 11月	第4章 政治に参加する私たち 第3節 国際政治の課題と日本の役割	6	① 知識・技能 ・国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割が理解できている。 ・核軍拡から核軍縮への流れが理解できている。 ・現代の世界の紛争や人権問題について理解できている。 ② 思考・判断・表現 ・留学生や国際 NGO と接することにより、国際化を身近に体験し、国際社会の諸問題について判断できている。 ・国際問題について自分なりの意見を持ち、他者に説明できている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・民族紛争や難民問題など国際政治問題について日常から関心を持てている。 ・留学生や国際 NGO と接することにより、国際化を身近に体験し、国際社会の諸問題について主体的に追究できている。	定期考査	○留学生や国際NGOと接することにより、国際化を身近に体験し、国際社会の諸問題について判断できている。 ○国際問題について自分なりの意見を持ち、他者に説明する。	・グループ活動 ・プレゼン、発表 ・レポート提出	

11月～ 12月	第5章 経済活動を行う私たち 第1節 経済のしくみと産業 の変化	7	① 知識・技能 ・現代の企業の果たしている役割が理解できて いる。 ・中小企業や農業の果たしている役割と現状を 理解できている。 ・産業構造の変化と職業選択との関係や、雇 用・労働問題について理解できている。	定期考査	○現代の企業の果たしている 役割、中小企業や農業の果た している役割と現状、雇用・ 労働問題、産業構造の変化と 職業選択との関係について理 解できている。	・グループ活動 ・プレゼン、発表 ・レポート提出	
			② 思考・判断・表現 ・現代の企業倫理について考察できている。 ・経済のサービス化が進展し、国民生活にどの ような変化をもたらしたか考察できている。	レポート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・AI や IT などの先端技術が発展するなかで、 自分の進路や職業選択を考えることができてい る。 ・経済社会に主体的に生きる一員として、今後 の日本経済について見通しがたてられている。	授業態度			
12月～ 1月	第5章 経済活動を行う私たち 第2節 市場経済のしくみと 金融	4	① 知識・技能 ・市場経済のメカニズムが理解できている。 ・各種経済指標を理解し、その指標の動向を読 み解くことができている。 ・金融のしくみを理解し、経済状況に応じて適 切な手段を提示できている。	定期考査	○各種経済指標、金融のしく みについて理解できている。	・グループ活動 ・プレゼン、発表 ・レポート提出	
			② 思考・判断・表現 ・需給曲線を使って、どのような場合に価格が 変動するのか考察できている。 ・GDP が大きいことが豊かさにつながるのかど うか、豊かさについて自分なりに判断できてい る。	レポート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・商品の価格は需給関係によって変動するもの もあることを理解し、合理的は消費行動がとれ ている。 ・超低金利時代に生きる一員として、今後の経 済設計がきちんとたてられている。	授業態度			
1月	第5章 経済活動を行う私たち 第3節 財政と社会保障	3	① 知識・技能 ・政府が経済に果たしている役割を理解できて いる。 ・財政のしくみを理解し、経済状況に応じて適 切な手段を提示できている。 ・社会保障について理解できている。	定期考査	○社会保障、貿易や外国為替 のしくみについて理解できて いる。	・グループ活動 ・プレゼン、発表 ・レポート提出	
			② 思考・判断・表現 自身の老後生活を予想し、租税（支払い）と社 会保障（受取り）とのバランスを考察できてい る。	レポート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 日本の経済について課題を発見し、解決する見 通しが持てている。	授業態度			
1月～ 2月	第5章 経済活動を行う私たち 第4節 国際経済の動向と課 題	5	① 知識・技能 ・貿易や外国為替相場について、そのしくみが 理解できている。 ・戦後の国際経済の流れが理解できている。 ・発展途上国の現状を知り、貧困や飢餓などの 原因や課題を理解できている。	定期考査	○貿易や外国為替のしくみ、 戦後の国際経済の流れ、発展 途上国の現状、貧困や飢餓な どの原因や課題を理解できて いる。	・グループ活動 ・プレゼン、発表 ・レポート提出	
			② 思考・判断・表現 経済のグローバル化と相互依存関係が深まって いることを理解し、それが日本経済にどのよう な影響を及ぼしているかを考察できている。	レポート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・自分たちの日常生活が国際経済と不可分であ ることを自覚できている。 ・格差のある国際社会で、その克服のために自 らがどのようなことができるか考え、実行しよ うという意欲を持つことができている。	授業態度			
2月～ 3月	課題探究編 持続可能な社会づくりの主 体とな る私たち 課題探究の観点 課題探究の手引き	7	① 知識・技能 ・現代社会に生きる私たちの課題を指摘できて いる。 ・現代社会の諸問題について、その問題の所 在、現状、問題点などが理解できている。	定期考査	○現代社会の諸問題を多角 的・多面的に考察し、その内 容をレポートや口頭発表など によつて的確に表現できてい る。	・グループ活動 ・プレゼン、発表 ・レポート提出	
			② 思考・判断・表現 現代社会の諸問題の解決のために、事実を基に 協働して考察、構想することができている。	レポート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・さまざまな課題の中で、自己とのかかわりに 注目して主体的に課題を選択し、探究できてい る。 ・それぞれが選択した課題について、今後も継 続して探究しようという意欲を持つことができ ている。	授業態度			
指導時間数の計		70					

学校の教育目標	「一人一人が自立し、幸せに満ちた学校」、「社会に貢献できる幅広い人材の育成」 1 「自立貢献」を目指す理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実践する。 2 確かな学力と表現する力の育成を図り、生徒一人一人に明確な目標を持たせ、個性と自立心を伸長させる。 3 自制心、向上心、共感性等を育てる教育活動を通して、非認知能力の育成に努め、地域や社会に貢献できる心豊かな人間を育成する。 4 特別活動等の活性化と魅力ある学校づくりを推進し、地域から信頼され、選ばれる学校を目指す。 5 生徒ひとりひとりの人権を尊重し、生徒・職員が相互に人格を認め合ういじめのない環境をつくる。
---------	---

教科の目標	○数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。(知識及び技能) ○数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。(思考力、判断力、表現力等) ○数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。(学びに向かう力、人間性等)
-------	--

科目名		単位数	課程・学科・学年		使用教科書名(出版社)		
数学Ⅱ		4	全日制・普通科・2年(Ⅰ類)		最新 数学Ⅱ(数研出版)		
科目の目標		いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。					
時期 月 週 日	単 元・題 材 名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資 質・能力の育成に関わ る他教科等との関連
4月	第1章 式と証明 1. 多項式の乗法と因数分解	3	① 知識・技能 ・展開の公式を用いて、3乗に関わる式を展開することができる。 ・3次の因数分解の公式を理解し、それらを用いて因数分解することができる	小テスト 定期テスト	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表	
			② 思考・判断・表現 ・やや複雑な式の因数分解に取り組もうとする。	定期テスト ノート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・3乗に関わる展開の公式を自ら導こうとする。	ノート 観察 発表 学習の振り返り			
4月	2. 二項定理	2	① 知識・技能 ・パスカルの三角形の性質を理解し、パスカルの三角形の作り方がわかる ・二項定理を利用して、展開式やその項の係数を求めることができる。	小テスト 定期テスト	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表	
			② 思考・判断・表現 ・ $(a+b)^n$ の展開式を深く分析し、係数についての法則を推測することができる。	定期テスト ノート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・パスカルの三角形や二項定理の対称性やそこに現れる数の並びに興味をもって調べようとする。	ノート 観察 発表 学習の振り返り			
4月	3. 多項式の割り算	3	① 知識・技能 ・多項式の割り算の計算方法を理解している。	小テスト 定期テスト	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表	
			② 思考・判断・表現 ・多項式の割り算の結果を等式で表して考察することができる。	定期テスト ノート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・多項式の割り算を積極的に解こうとしている。	ノート 観察 発表 学習の振り返り			
4月	4. 分数式の乗法・除法 5. 分数式の加法・減法	5	① 知識・技能 ・分数式の乗法・除法ができる。 ・分数式の加法・減法ができる。	小テスト 定期テスト	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表	
			② 思考・判断・表現 ・分数式の計算の結果を、既約分数式または多項式に表すことができる。 ・分数式を分数と同じように通分して扱うことができる。	定期テスト ノート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・分数式の計算を積極的に行っている。	ノート 観察 発表 学習の振り返り			
5月	6. 恒等式	3	① 知識・技能 ・恒等式の性質を理解している。 ・恒等式となるように、係数を決定することができる。	小テスト 定期テスト	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表	
			② 思考・判断・表現 ・恒等式の性質を考察している。	定期テスト ノート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・恒等式の係数を決定する際に、係数比較法と数値代入法とを、比較して考察しようとする。	ノート 観察 発表 学習の振り返り			
			① 知識・技能 ・与えられた条件式の利用方法を考え、等式や不等式を証明することができる。 ・実数の大小関係の基本性質を理解している。 ・相加平均と相乗平均の大小関係を利用して、不等式を証明することができる。	小テスト 定期テスト	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表	

5月	7. 等式の証明 8. 不等式の証明 9. 相加平均と相乗平均	6	② 思考・判断・表現 - 与えられた条件式の利用方法を考え、等式を証明することができる。 - 不等式の証明で、等号が成り立つ場合について考察できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 - 等式の証明や不等式の証明を通して、数学の論証に興味・関心をもつ。 - 相加平均と相乗平均の大小関係の有用性に興味・関心をもつ。	定期テスト ノート			
5月	第2章 複素数と方程式 1. 複素数	4	① 知識・技能 - 複素数の四則計算ができる。 - 負の数の平方根を理解している。 ② 思考・判断・表現 - 平方根を負の数にまで拡張することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 - 方程式が常に解をもつように考えられた複素数に興味・関心を示し、考察しようとする。	小テスト 定期テスト 定期テスト ノート ノート 観察 発表 学習の振り返り	- 例題 - 問題演習 - グループ活動 - 発表	グループ活動 発表	
6月	2. 2次方程式の解と判別 3. 解と係数の関係	6	① 知識・技能 2次方程式の解の公式を利用して、2次方程式を解くことができる。 - 判別式を利用して、2次方程式の解を判別することができる。 - 解と係数の関係を使って、2次方程式の解の和と積を求めることができる。 ② 思考・判断・表現 2次方程式の解について、実際に解を求めずに、判別式で解の種類を判別することができることを理解している。 2次方程式の解に関する種々の問題を、解と係数の関係を利用して考察しようとする。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 2次方程式の解が虚数になる場合もあることに興味を示し、2次方程式の解を考察しようとする。 2次式を複素数の範囲で因数分解することに興味をもち、問題に取り組もうとする。	小テスト 定期テスト 定期テスト ノート ノート 観察 発表 学習の振り返り	- 例題 - 問題演習 - グループ活動 - 発表	グループ活動 発表	
6月	4. 剰余の定理と因数定理 5. 高次方程式の解法	6	① 知識・技能 - 剰余の定理を利用して、多項式を1次式で割ったときの余りを求めることができる。 - 因数分解や因数定理を利用して、高次方程式を解くことができる。 ② 思考・判断・表現 - 多項式を1次式で割った時の余りを求めるのに、剰余の定理が利用できることを理解している。 - 高次方程式を1次方程式や2次方程式に帰着させることができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 - 高次方程式の解き方に興味をもち、問題に取り組もうとする。	小テスト 定期テスト 定期テスト ノート ノート 観察 発表 学習の振り返り	- 例題 - 問題演習 - グループ活動 - 発表	グループ活動 発表	
7月	第3章 図形と方程式 1. 直線上の点 2. 平面上の点	5	① 知識・技能 - 数直線上において、2点間の距離、線分の内分点、外分点の座標を求めることができる。 - 座標平面について理解している。 - 座標平面上において、2点間の距離、線分の内分点、外分点の座標を求めることができる。 ② 思考・判断・表現 - 点の座標を求めるのに、図形の性質を適切に利用できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 - 数直線上の点に関する公式を利用して、平面上の問題を考察しようとする。	小テスト 定期テスト 定期テスト ノート ノート 観察 発表 学習の振り返り	- 例題 - 問題演習 - グループ活動 - 発表	グループ活動 発表	
7月	3. 直線の方程式 4. 2直線の平行と垂直	6	① 知識・技能 - 与えられた条件を満たす直線の方程式の求め方を理解している。 2直線の平行条件、垂直条件、点と直線の距離の公式を理解していて、それを利用できる。 ② 思考・判断・表現 1点を通る直線の方程式から、異なる2点を通る直線の方程式に拡張して考察することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 - 公式を利用して、直線の方程式を求めようとする。 2直線の平行・垂直の関係を、直線の傾きに着目して考察しようとする。	小テスト 定期テスト 定期テスト ノート ノート 観察 発表 学習の振り返り	- 例題 - 問題演習 - グループ活動 - 発表	グループ活動 発表	
9月	5. 円の方程式 6. 円と直線	7	① 知識・技能 - 与えられた条件を満たす円の方程式の求め方を理解している。 3点を通る円の方程式を求めることができる。 - 円と直線の共有点の座標を求めることができる。 ② 思考・判断・表現 - 円の方程式がx、yの2次方程式で表されることを理解している。 - 円の中心から直線までの距離と円の半径の大小関係を代数的に処理することで、円と直線の位置関係を考察することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 - 与えられた方程式が表す図形に興味・関心をもつ。 - 円と直線の位置関係を、2次方程式の判別式や、円の中心から直線までの距離と円の半径の大小関係により調べようとする。	小テスト 定期テスト 定期テスト ノート ノート 観察 発表 学習の振り返り	- 例題 - 問題演習 - グループ活動 - 発表	グループ活動 発表	
9月	7. 軌跡、研究	5	① 知識・技能 - 軌跡の定義を理解し、与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができる。 ② 思考・判断・表現 - 平面上の点の軌跡を、座標平面を利用して考察することができる。 - 点が満たす条件から得られた方程式を、図形として考察することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 - 点が満たす条件から得られた方程式がどのような図形を表しているかを考察しようとする。	小テスト 定期テスト 定期テスト ノート ノート 観察 発表 学習の振り返り	- 例題 - 問題演習 - グループ活動 - 発表	グループ活動 発表	

9月	8. 不等式の表す領域 9. 連立不等式と領域	7	① 知識・技能 ・不等式の表す領域を図示することができる。 ・領域を利用して、1次式の最大値・最小値の求め方を理解している。 ② 思考・判断・表現 ・不等式を満たすx、yの組を、座標平面上の点の集合としてみるができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・条件として与えられた不等式の表す領域を図示することにより、1次式の最大値・最小値が求められることに興味・関心をもつ。	小テスト 定期テスト 定期テスト ノート ノート 観察 発表 学習の振り返り	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表	
10月	第4章 三角関数 1. 一般角 2. 弧度法	4	① 知識・技能 ・一般角を表す動径を図示することができる。 ・弧度法の定義を理解し、度数法と弧度法の換算ができる。 ② 思考・判断・表現 ・一般角を動径とともに考察することができる。 ・弧の長さで角を測る方法である弧度法を考察することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・新しい角の測り方である弧度法に興味をもち、角度の換算に取り組もうとする。	小テスト 定期テスト 定期テスト ノート ノート 観察 発表 学習の振り返り	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表	
10月	3. 三角関数 4. 三角関数のグラフ	7	① 知識・技能 ・弧度法で表された角の三角関数の値を、三角関数の定義によって求めることができる。 ・いろいろな三角関数のグラフのかき方と周期の求め方を理解している。 ② 思考・判断・表現 ・三角比の定義を、三角関数の定義に一般化して考察することができる。 ・単位円周上の点の動きから、三角関数のグラフを考察することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・三角比の定義を一般化して、三角関数の定義を考察しようとする。 ・周期関数に興味をもち、三角関数のグラフの特徴を考察しようとする。	小テスト 定期テスト 定期テスト ノート ノート 観察 発表 学習の振り返り	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表	
10月	5. 三角関数を含む方程式、不等式	4	① 知識・技能 ・三角関数を含む方程式・不等式の解き方を理解している。 ② 思考・判断・表現 ・三角関数を含む方程式・不等式を解く際に、単位円やグラフを図示して考察することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・三角関数を含む方程式・不等式の解くことに取り組む意欲がある。	小テスト 定期テスト 定期テスト ノート ノート 観察 発表 学習の振り返り	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表	
11月	6. 加法定理 7. 加法定理の応用	5	① 知識・技能 ・加法定理を利用して、種々の三角関数の値を求めることができる。 ・2倍角の公式を利用して、三角関数を含むやや複雑な方程式を解くことができる。 ② 思考・判断・表現 ・2倍角の公式を利用して、やや複雑な三角関数を含む方程式・不等式の角を統一して考察することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・加法定理を2点間の距離の公式を用いて証明しようとする。 ・加法定理から、2倍角の公式、半角の公式を導こうとする。	小テスト 定期テスト 定期テスト ノート ノート 観察 発表 学習の振り返り	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表	
11月	8. 三角関数の合成、コラム	2	① 知識・技能 ・三角関数の合成を利用して、関数の最大値・最小値を求めることができる。 ② 思考・判断・表現 ・関数$y=asin\theta + bcos\theta$のグラフをかくことができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・ブレイマイオスに関心をもち、考察しようとする。	小テスト 定期テスト 定期テスト ノート ノート 観察 発表 学習の振り返り	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表	
12月	第5章 指数関数と対数関数 1. 指数法則 2. 指数関数とそのグラフ	7	① 知識・技能 ・累乗の定義を理解し、累乗の計算や、指数法則を用いた計算をすることができる。 ・指数関数のグラフの概形、特徴を理解している。 ② 思考・判断・表現 ・指数が0や負の整数の場合も正の整数の場合と同様の指数法則が成り立つことを理解している。 ・指数関数の増減によって、大小関係や方程式・不等式を考察することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・累乗根の性質に興味を示し、具体的に証明しようとする。 ・指数関数のグラフの概形を、点をプロットしてかこうとする意欲がある。	小テスト 定期テスト 定期テスト ノート ノート 観察 発表 学習の振り返り	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表	
12月	3. 対数 4. 対数の性質 5. 対数関数とそのグラフ	6	① 知識・技能 ・対数の定義を理解し、対数の値を求めることができる。 ・対数の性質に基づいた種々の対数の値の計算ができる。 ・対数関数のグラフの概形、特徴を理解している。 ② 思考・判断・表現 ・指数法則と対数の定義から、対数の性質を考察することができる。 ・対数関数の増減によって、大小関係や方程式・不等式を考察することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・指数と対数との相互関係に興味・関心をもつ。 ・やや複雑な対数方程式、対数不等式に積極的に取り組もうとする。	小テスト 定期テスト 定期テスト ノート ノート 観察 発表 学習の振り返り	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表	
			① 知識・技能 ・常用対数の定義を理解し、それに基づいて種々の値を求めることができる。	小テスト 定期テスト	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表	

12月	6. 常用対数	2	② 思考・判断・表現 ・n桁の正の整数や小数首位が第n位の数を、不等式で表現することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・桁数や小数首位の問題を一般的に考察しようとする。	定期テスト ノート 観察 発表 学習の振り返り	・発表		
1月	第6章 微分法と積分法 1. 平均変化率と微分係数 2. 導関数	5	① 知識・技能 ・微分係数の定義を理解し、それを求めることができる。 ・定義に基づいて導関数を求める方法を理解している。 ② 思考・判断・表現 ・微分係数の図形的意味を理解している。 ・導関数を表す種々の記号を理解していて、それらを適切に使って表現することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・微分係数や導関数の意味について理解し、それらの有用性を認識しようとしている。	小テスト 定期テスト 定期テスト ノート ノート 観察 発表 学習の振り返り	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表	
1月	3. いろいろな関数の微分 4. 接線	5	① 知識・技能 ・導関数の性質を利用して、種々の導関数の計算ができる。 ・接線の方程式の公式を利用して、接線の方程式を求めることができる。 ② 思考・判断・表現 ・微分係数の図形的な意味と、直線の方程式の公式から、接線の方程式の公式を考察することができる ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・曲線外の点から曲線に引いた接線の方程式を求めようとする。	小テスト 定期テスト 定期テスト ノート ノート 観察 発表 学習の振り返り	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表	
1月	5. 関数の増減	4	① 知識・技能 ・導関数を利用して、関数の増減を調べることができる。 ② 思考・判断・表現 ・関数の増減を接線の傾きから考察することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・関数の増減を導関数を用いて調べようとする。	小テスト 定期テスト 定期テスト ノート ノート 観察 発表 学習の振り返り	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表	
2月	6. 関数の極大・極小 7. 関数の最大・最小	6	① 知識・技能 ・導関数を利用して、関数の極値を求めたり、グラフをかいたりすることができる。 ・導関数を利用して、関数の最大値・最小値を求めることができる。 ② 思考・判断・表現 ・関数の極値から関数を決定する際に、必要十分条件に注意して考察することができる。 ・最大値・最小値と極大値・極小値の違いを、明確に意識して考察することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・関数の極値を導関数を用いて調べようとする。 ・身近にある最大値・最小値の問題を、微分法を利用して解決しようとする。	小テスト 定期テスト 定期テスト ノート ノート 観察 発表 学習の振り返り	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表	
2月	8. 方程式・不等式への応用	4	① 知識・技能 ・導関数を利用して、方程式の実数解の個数、不等式の証明の問題を解くことができる。 ② 思考・判断・表現 ・方程式の実数解の個数を、関数のグラフとx軸の共有点の個数に読み替えて考察できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・方程式や不等式を関数的視点で捉え、微分法を利用して解決しようとする。	小テスト 定期テスト 定期テスト ノート ノート 観察 発表 学習の振り返り	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表	
3月	9. 不定積分 10. 不定積分の計算	6	① 知識・技能 ・不定積分の定義や性質を理解し、それを利用する不定積分の計算方法を理解している。 ② 思考・判断・表現 ・微分法の逆演算としての不定積分を考察することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・積分法が微分法の逆演算であることから、不定積分を求めようとする。	小テスト 定期テスト 定期テスト ノート ノート 観察 発表 学習の振り返り	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表	
3月	11. 定積分 12. 定積分の性質 13. 面積、研究	5	① 知識・技能 ・定積分の定義を理解し、それを利用する定積分の計算方法を理解している。 ・直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分で表して求めることができる。 ② 思考・判断・表現 ・上端がxである定積分を、xの関数とみなすことができる。 ・面積を求める際には、グラフの上下関係、積分範囲などを、図をかいて考察することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・面積が定積分で表されることに興味・関心をもち、考察しようとする。	小テスト 定期テスト 定期テスト ノート ノート 観察 発表 学習の振り返り	・例題 ・問題演習 ・グループ活動 ・発表	グループ活動 発表	
指導時間数の計		140					

学校の教育目標	「一人一人が自立し、幸せに満ちた学校」、「社会に貢献できる幅広い人材の育成」 1 「自立貢献」を目指す理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実践する。 2 確かな学力と表現する力の育成を図り、生徒一人一人に明確な目標を持たせ、個性と自立心を伸長させる。 3 自制心、向上心、共感性等を育てる教育活動を通して、非認知能力の育成に努め、地域や社会に貢献できる心豊かな人間を育成する。 4 特別活動等の活性化と魅力ある学校づくりを推進し、地域から信頼され、選ばれる学校を目指す。 5 生徒ひとりひとりの人権を尊重し、生徒・職員が相互に人格を認め合ういいじめのない環境をつくる。
---------	--

教科の目標	○何を理解しているか、何ができるか（知識及び技能） ○理解していること・できることをどう使うか（思考力、判断力、表現力等） ○どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等）
-------	--

科目名		単位数	課程・学科・学年		使用教科書名(出版社)		
化学基礎		2	全日制・普通科・2学年		新編 化学基礎(数研出版)		
科目の目標		・化学的な事物・現象について、日常生活と関連付けながら知識を習得するとともに、論理的に表現する力を養う。 ・観察、実験などに関する基本的な技能を身に付け、化学的な事物・現象に主体的に関わろうとする。 ・観察・実験から得られた結果を、化学的に考察する力を養うとともに、さらに探求しようとする知的好奇心を育てる。					
時期 月 週 日	単 元・題 材 名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資 質・能力の育成に関わ る他教科等との関連
4月	第1編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成	8	① 知識・技能 ・物質の構成による分類や、成分の検出方法について理解する。 ・物質の熱運動について理解する。 ② 思考・判断・表現 ・物質に含まれる成分の検出に最適な手法を考え、説明できる。 ・絶対温度を、日常生活とも馴染みの深いセルシウス温度に変換できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・身の回りの物質が何からできているのか、その成分について学んだことをもとに、知ろうとする。	・ 考査 ・ 授業ノート ・ 問題集 ・ 考査 ・ 授業ノート ・ 授業ノート ・ グループワーク	・ 例題 ・ 問題演習 ・ グループワーク ・ 発表	身近な物質で、成分を知りたいと思うものを出し合い、全員で共有し考える。	数学
5月	第1編 物質の構成と化学結合 第2章 物質の構成粒子	8	① 知識・技能 ・原子の構造と周期表との関係を理解する。 ・イオンの成り立ちについて理解する。 ② 思考・判断・表現 ・原子の構造を説明できる。 ・原子がイオンになる過程を説明できる。また、その原子が陽イオン・陰イオンのどちらになるのかを判断できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・物質の源である原子やイオンの構造に興味関心を持ち、観察しようとする。 ・身の回りの物質がどんな原子・イオンから構成されているか興味・関心を持ち、知ろうとする。	・ 考査 ・ 授業ノート ・ 問題集 ・ 考査 ・ 授業ノート ・ 授業ノート ・ グループワーク ・ 観察活動	・ 例題 ・ 問題演習 ・ グループワーク ・ 観察活動 ・ 発表	身近な物質で、どんな原子・イオンから構成されているのか知りたいものを出し合い、全員で共有し考える。 また、原子の模型を使って、原子の構造を説明し合う。	数学
6月 ～7月	第1編 物質の構成と化学結合 第1章 粒子の結合	16	① 知識・技能 ・身の回りの物質は、粒子がイオン結合・共有結合・金属結合によって結びついて構成されていることを理解する。 ② 思考・判断・表現 ・イオン結合・共有結合・金属結合の仕組みについて説明できる。 ・その物質を構成する粒子が、どのような結合を構成しているのか判断できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・身の回りの物質を構成する粒子が、どのような結合で結びついているのか知ろうとする。 ・物質には、構成する粒子の結合の仕方に起因する特徴があり、その様子を観察しようとする。	・ 考査 ・ 授業ノート ・ 問題集 ・ 考査 ・ 授業ノート ・ 授業ノート ・ グループワーク ・ 観察活動	・ 例題 ・ 問題演習 ・ グループワーク ・ 観察活動 ・ 発表	身の回りの物質を構成する粒子が、どのように結合しているのかを考え、全員で共有する。	数学
9月 ～10月	第2編 物質の変化 第1章 物質質量と化学反応式	16	① 知識・技能 ・化学で用いられる物理量のひとつである物質質量の考え方を理解する。 ・溶液の濃度の化学的な表し方を理解する。 ・化学反応式の書き方を習得する。 ② 思考・判断・表現 ・物質の量を、物質質量を用いて表せる。 ・溶液中の物質の濃度を化学的に表せる。 ・化学反応を、化学反応式を用いて表せる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・自ら調製した溶液の濃度を、化学的手法を用いて求めようとする。 ・身近な化学反応を、化学反応式で表そうとする。	・ 考査 ・ 授業ノート ・ 問題集 ・ 考査 ・ 授業ノート ・ 授業ノート ・ グループワーク ・ 実験	・ 例題 ・ 問題演習 ・ グループワーク ・ 実験 ・ 発表	物質を水に溶かして調製した溶液の濃度を、求め周囲の生徒と共有する。	数学
11月 ～12月	第2編 物質の変化 第2章 酸と塩基の反応	16	① 知識・技能 ・酸・塩基と中和の関係を理解する。 ・pHについて、日常生活での例と関連付けて理解する。 ・中和滴定の操作と仕組みを理解する。 ② 思考・判断・表現 ・水溶液のpHを計算から決定できる。 ・中和滴定の実験から、濃度未知の溶液の濃度を決定できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・身の回りの溶液のpHを知ろうとする。 ・実験操作に主体的に関わろうとする。	・ 考査 ・ 授業ノート ・ 問題集 ・ 考査 ・ 授業ノート ・ 授業ノート ・ グループワーク ・ 実験	・ 例題 ・ 問題演習 ・ グループワーク ・ 実験 ・ 発表	pHを知りたい溶液を出し合い全員で共有し、pHを求めてみる。 実験操作をグループで確認しながら、協力して行う。	数学

1月 ～3月	第2編 物質の変化 第3章 酸化還元反応	22	① 知識・技能 ・酸化と還元の仕事みを、身近な例に関連付けて理解する。 ・酸化還元反応の工業的応用について知る。 ② 思考・判断・表現 ・身近な酸化還元反応について、どのような酸化反応・還元反応が生じているのか、化学反応式も含めて考え、意見を共有することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・身近な酸化還元反応に興味関心を持ち、その反応の仕組みについて、グループでの話合いに主体的に参加しようとする。	・考査 ・授業ノート ・問題集 ・考査 ・授業ノート ・授業ノート ・グループワーク	・例題 ・問題演習 ・グループワーク ・実験 ・発表	身近な酸化還元反応について、どのような酸化反応と還元反応が生じているのか、グループで考え話し合う。	数学
指導時間数の計		70					

学校の教育目標	「一人一人が自立し、幸せに満ちた学校」、「社会に貢献できる幅広い人材の育成」 1 「自立貢献」を目指す理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実践する。 2 確かな学力と表現する力の育成を図り、生徒一人一人に明確な目標を持たせ、個性と自立心を伸長させる。 3 自制心、向上心、共感性等を育てる教育活動を通して、非認知能力の育成に努め、地域や社会に貢献できる心豊かな人間を育成する。 4 特別活動等の活性化と魅力ある学校づくりを推進し、地域から信頼され、選ばれる学校を目指す。 5 生徒ひとりひとりの人権を尊重し、生徒・職員が相互に人格を認め合ういいじめのない環境をつくる。
---------	--

教科の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
-------	--

科目名		単位数	課程・学科・学年		使用教科書名(出版社)		
体育		2	全日制・普通科・2学年		現代高等保健体育(大修館書店)		
科目の目標		体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。					
時期 月 週 日	単 元・題 材 名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資 質・能力の育成に関わ る他教科等との関連
4月 第2週 ～ 5月 第1週	体づくり運動	9	① 知識・運動 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。 健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができる。	観察 学習カード	・ 個別の運動実践 ・ 課題の整理 (個別) ・ 運動計画の作成 (グループワーク) ・ 計画の発表 ・ 計画の実践	・ 意義・原則等を理解し説明する。 ・ 自らの考えを整理し、他者に伝える。 ・ 自分の考えやグループの考えを発展させる。 ・ 他者の意見を解釈し自分の考えを深める。	・ 体育理論(豊かなスポーツライフの設計の仕方) ・ 保健(精神疾患の予防と回復) ・ 家庭基礎(生涯の生活設計)
			② 思考・判断・表現 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	観察 学習カード			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし ること、話し合いに貢献しようとし ることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	観察 学習カード			
5月 第2週 ～ 6月 第1週	球技 (ネット型) ・卓球 ・バドミントン ・バレー	9	① 知識・運動 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解している。 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。	テスト 観察	・ 個人練習 ・ 課題の整理 (ペアワーク) ・ 練習計画の作成 (ペアワーク) ・ 計画の発表 ・ 計画の実践 ・ 知識テスト ・ リーグ戦運営	・ 技術を解釈し説明する。 ・ 自らの考えを整理し、他者に伝える。 ・ 自分の考えやチームの考えを発展させる。 ・ 他者の意見を解釈し自分の考えを深める。	・ 体育理論(運動やスポーツの効果的な学習の仕方)
			② 思考・判断・表現 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	観察 学習カード			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし ること、作戦などについて の話し合いに貢献しようとし ること、一人一人の違いに 応じたプレイなどを大切に しようとし ること、互いに助け合い 教え合おうとし ることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	観察 学習カード			
6月 第2週 ～ 7月 第2週	球技 (ゴール型) ・バスケットボール ・サッカー	9	① 知識・運動 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解している。 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。	テスト 観察	・ 個人練習 ・ グループ練習 ・ 課題の整理 (グループワーク) ・ 練習計画の作成 (ペアワーク) ・ 計画の発表 ・ 計画の実践 ・ 知識テスト ・ リーグ戦運営	・ 技術を解釈し説明する。 ・ 自らの考えを整理し、他者に伝える。 ・ 自分の考えやチームの考えを発展させる。 ・ 他者の意見を解釈し自分の考えを深める。	・ 体育理論(運動やスポーツの効果的な学習の仕方)
			② 思考・判断・表現 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	観察 学習カード			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし ること、作戦などについて の話し合いに貢献しようとし ること、一人一人の違いに 応じたプレイなどを大切に しようとし ること、互いに助け合い 教え合おうとし ることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	観察 学習カード			

7月 第3週	体育理論 (運動・スポーツの学び方) ・スポーツにおける技能と体力 ・スポーツにおける技術と戦術 ・技能の上達過程と練習	3	① 知識・運動 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。	ワークシート テスト	・講義 ・ワークシート作業 (課題の整理) (発表) ・小テスト	・事実を正確に理解し伝達する。 ・自らの考えを整理し、他者に伝える。 ・他者の意見を解釈し自分の考えを深める。	・保健 (医薬品)
			② 思考・判断・表現 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	ワークシート 観察			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組んでいる。	ワークシート 観察			
9月 第1週 ～ 10月 第1週	ダンス ・現代的リズムのダンス	9	① 知識・運動 ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解している。 リズムの特徴を強調して、全身で自由に踊ったり、変化とまとまりをつけて仲間と対応したりして踊ることができる。	テスト 観察	・ペアワーク ・グループワーク ・発表	・自らの考えを整理し、他者に伝える。 ・自分の考えや集団の考えを発展させる。 ・他者の意見を解釈し自分の考えを深める。	・体育理論 (豊かなスポーツライフの設計の仕方)
			② 思考・判断・表現 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	観察 学習カード			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	観察 学習カード			
10月 第2週 ～ 11月 第1週	陸上競技	10	① 知識・運動 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解している。 自己に適したペースを維持して走ることができる。	観察 学習カード	・グループワーク ・練習計画の作成	・自らの考えを整理し、他者に伝える。 ・自分の考えや集団の考えを発展させる。 ・他者の意見を解釈し自分の考えを深める。	・体育理論 (豊かなスポーツライフの設計の仕方)
			② 思考・判断・表現 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	観察 学習カード			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	観察 学習カード			
11月 第2週 ～ 12月 第3週	球技 (ネット型) ・卓球 ・バドミントン ・バレー	9	① 知識・運動 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解している。 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。	テスト 観察	・個人練習 ・課題の整理 (ペアワーク) ・練習計画の作成 (ペアワーク) ・計画の発表 ・計画の実践 ・知識テスト ・リーグ戦運営	・技術を解釈し説明する。 ・自らの考えを整理し、他者に伝える。 ・自分の考えやチームの考えを発展させる。 ・他者の意見を解釈し自分の考えを深める。	・体育理論 (運動やスポーツの効果的な学習の仕方)
			② 思考・判断・表現 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	観察 学習カード			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	観察 学習カード			
1月 第2週	体育理論 (運動・スポーツの学び方) ・効果的な動きのメカニズム ・体カトレーニング ・運動やスポーツでの安全の確保	3	① 知識・運動 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。	ワークシート テスト	・講義 ・ワークシート作業 (課題の整理) (発表) ・小テスト	・事実を正確に理解し伝達する。 ・自らの考えを整理し、他者に伝える。 ・他者の意見を解釈し自分の考えを深める。	・保健 (医薬品)
			② 思考・判断・表現 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	ワークシート 観察			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組んでいる。	ワークシート 観察			

1月 第3週 ～ 3月 第3週	球技 (ゴール型) ・バスケットボール ・サッカー	9	① 知識・運動 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解している。 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。	テスト 観察	・個人練習 ・グループ練習 ・課題の整理 (グループワーク) ・練習計画の作成 (ペアワーク) ・計画の発表 ・計画の実践 ・知識テスト ・リーグ戦運営	・技術を解釈し説明する。 ・自らの考えを整理し、他者に伝える。 ・自分の考えやチームの考えを発展させる。 ・他者の意見を解釈し自分の考えを深める。	・体育理論(運動やスポーツの効果的な学習の仕方)
			② 思考・判断・表現 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	観察 学習カード			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、作戦などについての話合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	観察 学習カード			
指導時間数の計		70					

学校の教育目標	「一人一人が自立し、幸せに満ちた学校」、「社会に貢献できる幅広い人材の育成」 1 「自立貢献」を目指す理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実践する。 2 確かな学力と表現する力の育成を図り、生徒一人一人に明確な目標を持たせ、個性と自立心を伸長させる。 3 自制心、向上心、共感性等を育てる教育活動を通して、非認知能力の育成に努め、地域や社会に貢献できる心豊かな人間を育成する。 4 特別活動等の活性化と魅力ある学校づくりを推進し、地域から信頼され、選ばれる学校を目指す。 5 生徒ひとりひとりの人権を尊重し、生徒・職員が相互に人格を認め合ういじめのない環境をつくる。
---------	---

教科の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
-------	--

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名（出版社）
保健	1	全日制・普通科・2学年	現代高等保健体育（大修館書店）

科目の目標	保健の見方・考え方を働かせて、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
-------	--

時期 月 週 日	単 元・題 材 名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資 質・能力の育成に関わ る他教科等との関連
4月 第2週 ～ 5月 第1週	(1)現代社会と健康 01健康の考え方と成り立ち 02私たちの健康のすがた	3	① 知識 国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること、健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることを理解している。 ② 思考・判断・表現 健康の考え方に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 健康の考え方についての学習に自主的に取り組もうとしている。	観察 テスト 観察 保健体育ノート 観察 保健体育ノート	・講義 ・保健体育ノート ・グループワーク	・情報を分析・評価し、議論する。 ・自分の考えやグループの考えを発展させる。	
5月 第2週 ～ 6月 第3週	(1)現代社会と健康 03生活習慣病の予防と回復 04がんの原因と予防 05がんの治療と回復	5	① 知識 健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解している。 ② 思考・判断・表現 生活習慣病などの予防と回復に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 生活習慣病などの予防と回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。	観察 テスト 観察 保健体育ノート 観察 保健体育ノート	・講義 ・保健体育ノート ・グループワーク	・原則や概念を理解し説明する。 ・自らの考えを整理し、他者に伝える。 ・自分の考えや集団の考えを発展させる。 ・他者の意見を解釈し自分の考えを深める。	家庭基礎 「食品と健康」
6月 第4週 ～ 7月 第3週	(1)現代社会と健康 06運動と健康 07食事と健康 08休養・睡眠と健康	4	① 知識 がん、脳血管疾患、虚血性心疾患などを適宜取り上げ、リスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ② 思考・判断・表現 生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 テスト 観察 保健体育ノート 観察 保健体育ノート	・講義 ・保健体育ノート ・グループワーク	・情報を分析・評価し、議論する。 ・自分の考えやグループの考えを発展させる。	

9月 第1週 ～ 9月 第4週	(1)現代社会と健康 09喫煙と健康 10飲酒と健康 11薬物乱用と健康	4	① 知識 喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行っはならないこと、それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解している。	観察 テスト	・講義 ・保健体育ノート ・グループワーク	・情報を分析・評価し、議論する。 ・自分の考えやグループの考えを発展させる。	
			② 思考・判断・表現 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。	観察 保健体育ノート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。	観察 保健体育ノート			
10月 第1週 ～ 10月 第4週	(1)現代社会と健康 12精神疾患の特徴 13精神疾患の予防 14精神疾患からの回復	4	① 知識 精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解している。	観察 テスト	・講義 ・保健体育ノート ・グループワーク	・原則や概念を理解し説明する。 ・自らの考えを整理し、他者に伝える。 ・自分の考えや集団の考えを発展させる。 ・他者の意見を解釈し自分の考えを深める。	
			② 思考・判断・表現 精神疾患の予防と回復に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。	観察 保健体育ノート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 精神疾患の予防と回復についての学習に自主的に取り組もうとしてる。	観察 保健体育ノート			
11月 第1週 ～ 11月 第4週	(1)現代社会と健康 15現代の感染症 16感染症の予防 17性感染症・エイズとその予防	4	① 知識 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること、その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解している。	観察 テスト	・講義 ・保健体育ノート ・グループワーク	・原則や概念を理解し説明する。 ・自らの考えを整理し、他者に伝える。 ・自分の考えや集団の考えを発展させる。 ・他者の意見を解釈し自分の考えを深める。	
			② 思考・判断・表現 現代の感染症とその予防に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。	観察 保健体育ノート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 現代の感染症とその予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。	観察 保健体育ノート			
12月 第1週 ～ 1月 第2週	(1)現代社会と健康 18健康に関する意思決定・行動選択 19健康に関する環境づくり	3	① 知識 国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること、健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることを理解している。	観察 テスト	・講義 ・保健体育ノート ・グループワーク	・情報を分析・評価し、議論する。 ・自分の考えやグループの考えを発展させる。	
			② 思考・判断・表現 健康の考え方に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。	観察 保健体育ノート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 健康の考え方についての学習に自主的に取り組もうとしている。	観察 保健体育ノート			
1月 第3週 ～ 2月 第3週	(2)安全な社会生活 01事故の現状と発生要因 02安全な社会の形成 03交通における安全	4	① 知識 安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること、交通事故には補償をはじめとした責任が生じることを理解している。	観察 テスト	・講義 ・保健体育ノート ・グループワーク	・原則や概念を理解し説明する。 ・自らの考えを整理し、他者に伝える。 ・自分の考えや集団の考えを発展させる。 ・他者の意見を解釈し自分の考えを深める。	
			② 思考・判断・表現 安全な社会づくりに関わる事象や情報から課題を発見し、自他や社会の危険の予測を基に、危険を回避する方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを説明している。	観察 保健体育ノート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 安全な社会づくりにについての学習に自主的に取り組もうとしてる。	観察 保健体育ノート			

2月 第4週 ～ 3月 第3週	(2)安全な社会生活	4	① 知識 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること、応急手当には、正しい手順や方法があること、応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることを理解しているとともに、心肺蘇生法などの応急手当を適切に行う技能を身に付けている。	観察 テスト	・講義 ・保健体育ノート ・グループワーク	・原則や概念を理解し説明する。 ・自らの考えを整理し、他者に伝える。 ・自分の考えや集団の考えを発展させる。 ・他者の意見を解釈し自分の考えを深める。	特活 「クラスマッチ」
	04応急手当の意義とその基本		② 思考・判断・表現 応急手当に関わる事象や情報から課題を発見し、傷害の悪化等を防止する方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを説明している。	観察 保健体育ノート			
	05日常的な応急手当						
	06心肺蘇生法		③ 主体的に学習に取り組む態度 応急手当についての学習に自主的に取り組もうとしてる。	観察 保健体育ノート			
指導時間数の計		35					

学校の教育目標	「一人一人が自立し、幸せに満ちた学校」、「社会に貢献できる幅広い人材の育成」 1 「自立貢献」を目指す理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実践する。 2 確かな学力と表現する力の育成を図り、生徒一人一人に明確な目標を持たせ、個性と自立心を伸長させる。 3 自制心、向上心、共感性等を育てる教育活動を通して、非認知能力の育成に努め、地域や社会に貢献できる心豊かな人間を育成する。 4 特別活動等の活性化と魅力ある学校づくりを推進し、地域から信頼され、選ばれる学校を目指す。 5 生徒ひとりひとりの人権を尊重し、生徒・職員が相互に人格を認め合ういじめのない環境をつくる。
---------	---

教科の目標	○芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。（知識及び技能） ○創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。（思考力、判断力、表現力等） ○生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。（学びに向かう力、人間性）
-------	---

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名（出版社）
音楽Ⅱ	2	全日制・普通科・2学年(Ⅰ類)	MOUSA2(教育芸術社)

科目の目標	○曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。（知識及び技能） ○個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。（思考力、判断力、表現力） ○主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（学びに向かう力、人間性）
-------	--

時期 月 週 日	単 元・題 材 名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月 ～ 5月	○器楽・ギターの様々な奏法を学ぼう	8	① 知識・技能 ・ギターの正しい奏法や読譜について理解している。 ・創意工夫を生かした表現のために必要な奏法や体の使い方などの技能を身につけ、器楽で表している。	ワークシート 実技テスト	・ギターの正しい奏法を確認しながら演奏する。 ・TAB譜およびダイアグラムの読み方を理解し、様々な奏法で演奏する活動に取り組む。	・ペアになり、ギターの奏法や楽譜の読み方について互いに教授しあう。 ・ペアで演奏し、相違点や良いところなどを伝え合い、より良い演奏へつなげる。	
			② 思考・判断・表現 ・音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、器楽表現を創意工夫している。	ワークシート 観察			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・ギターの正しい奏法を理解して演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	観察 発言			
6月	○歌唱・楽曲の特徴を捉えて歌おう	8	① 知識・技能 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、体の使い方等の技能を身につけ、歌唱で表している。	ワークシート 実技テスト	・言葉の抑揚と旋律がどのように関わり合っているかを理解する。 ・詩の情景や心情を踏まえながら表現意図を持って独唱する。 ・音楽を形づくっている要素を知覚しながら歌唱に取り組む。	・音楽を形づくっている要素の生かし方や歌詞との関わりについて意見を共有する。	・歴史における我が国の国土や歴史に対する愛情の自覚との関連
			② 思考・判断・表現 ・音色、リズム、旋律、構成を知覚し、それらを生かしながら、歌唱表現を創意工夫している。	ワークシート 観察			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・楽曲の特徴を捉えて歌う活動に関心を持ち、主体的・協働手金に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 発言			
7月	○鑑賞・標題音楽を鑑賞しよう	5	① 知識・技能 ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。	ワークシート 発表	・音楽を形づくっている要素を知覚し、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えながら鑑賞する。 ・曲や演奏に対する評価とその根拠や、音楽表現の共通性や固有性について考えながら鑑賞する。 ・楽曲の文化的・歴史的背景や作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解して鑑賞する。	・楽曲について音楽を形づくっている要素とその働きについて、知覚感受したことを共有する。 ・楽曲のイメージや印象楽曲に対しての評価について話し合う。	・地歴における世界の歴史の展開に関して理解することとの関連
			② 思考・判断・表現 ・音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成について知覚し、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠や、音楽表現の共通性や固有性について考え、深く味わって聴いている。	ワークシート 発言			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・楽曲についてその曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解することに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 発言			
9月	○器楽・ヴァイオリンに挑戦しよう	10	① 知識・技能 ・ヴァイオリンの音色や奏法について理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身につけ、器楽で表している。	ワークシート 実技テスト	・ヴァイオリンの正しい奏法を身につけ、演奏する。 ・楽器の音色や奏法の特徴を感じながら活動に取り組む。	・ペアになり、ヴァイオリンの奏法や楽譜の読み方について教授しあう。	
			② 思考・判断・表現 ・音色、リズム、速度を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。	ワークシート 観察			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・ヴァイオリンの音色や奏法を理解して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	観察 発言			

10月	○創作・お気に入りの曲を作ろう	10	① 知識・技能 - 音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 - 旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくる技能を身につけ、創作で表している。 ② 思考・判断・表現 - リズム、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図を持っている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 - 旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくることに関心を持ち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 作品発表 ワークシート 発言 観察	- 旋律に副次的な旋律や和音などをつけ、構成を工夫して音楽をつくる。 - 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解して音楽をつくる。	できあがった作品を共有し、批評しあう。	
11月	○歌唱・外国語の楽曲を歌おう	8	① 知識・技能 - 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 - 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけ、歌唱で表している。 ② 思考・判断・表現 - 音色、リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 - 外国語の発音に親しみ、言語の特徴や曲想にあった歌い方を身につけることに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 実技テスト ワークシート 観察 観察 発言	- イタリア語の発音に親しみ、言語の特徴や曲想にあった発声の仕方を身につける。 - カンツォーネについて知覚、感受しながら、歌詞の内容や曲想を味わって、曲にふさわしい音楽表現を工夫する。	音楽を形づくっている要素とその働きについて意見を共有する。	外国語における異文化への興味・関心を高めることとの関連
12月	○鑑賞・時代背景と結びつけて鑑賞しよう	5	① 知識・技能 - 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 ② 思考・判断・表現 - 音色、リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、とともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 - 時代背景と結びつけながら音楽を鑑賞する活動に関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 ワークシート 発言 観察 発言	- 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じて鑑賞する。 - 楽器の音色の特徴と表現上の効果との関わり感じ取って鑑賞する。 - 楽を時代背景と結びつけながら作曲者による表現の特徴を理解して鑑賞する。	- 楽曲について音楽を形づくっている要素とその働きについて、知覚感受したことを共有する。 - 楽曲のイメージや印象について話し合う。	地歴における他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚との関連
1月	○器楽・リコーダー合奏しよう	8	① 知識・技能 - 様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性を理解している。 - 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能をに身につけ、器楽で表している。 ② 思考・判断・表現 - 音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 - リコーダーの特徴を理解して合奏する活動に関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 実技テスト ワークシート 観察 観察 発言	音楽を形づくっている要素を知覚し、他者と協働してリコーダーを演奏する。	- グループで演奏を反省、改善していく。 - 演奏をグループごとに発表し、お互いの演奏を評価し合う。	
2月 ～3月	○歌唱・合唱をしよう	8	① 知識・技能 - 様々な表現形態による歌唱表現の特徴を理解している。 - 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 ② 思考・判断・表現 - 速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 - 他者と調和して合唱する活動に関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。	ワークシート 実技発表 ワークシート 観察 観察 発言	- 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、どのように歌うかについて表現意図を持って取り組んでいる。 - 合唱における歌詞の意味と音楽との関わりについて考えながら活動に取り組む。	パートごとに演奏を反省、改善していく。	
指導時間数の計		70					

学校の教育目標	「一人一人が自立し、幸せに満ちた学校」、「社会に貢献できる幅広い人材の育成」 1 「自立貢献」を目指す理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実践する。 2 確かな学力と表現する力の育成を図り、生徒一人一人に明確な目標を持たせ、個性と自立心を伸長させる。 3 自制心、向上心、共感性等を育てる教育活動を通して、非認知能力の育成に努め、地域や社会に貢献できる心豊かな人間を育成する。 4 特別活動等の活性化と魅力ある学校づくりを推進し、地域から信頼され、選ばれる学校を目指す。 5 生徒ひとりひとりの人権を尊重し、生徒・職員が相互に人格を認め合ういじめのない環境をつくる。
---------	---

教科の目標	芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かさに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。 (2) 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。 (3) 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
-------	---

科目名		単位数	課程・学科・学年		使用教科書名（出版社）		
書道Ⅱ		2	全日制・普通科・第2学年		書道Ⅱ（光村図書）		
科目の目標		書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。					
時期 月 週 日	単 元・題 材 名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4～5月	篆書の学習1（泰山刻石）	10	① 知識・技能 篆書の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体構成の技能を身につける。	作品	・「泰山刻石」（小篆）を鑑賞し、縦長で左右相称の字形や均一な線の太さ、正確な点画の配置などがもたらす洗練された書風を感じ取る。	作品の交流	
			② 思考・判断・表現 篆書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。	作品	・「泰山刻石」が作られた経緯や書風、内容と大意、公式書体としての小篆について理解する。		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 主体的に創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	観察	・篆書（小篆）の基本点画の用筆・運筆を確認する。		
6～8月	篆書の学習2（石鼓文）	10	① 知識・技能 篆書の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体構成の技能を身につける。	作品	・「石鼓文」が作られた経緯や書風、内容と大意を理解する。	作品の交流	
			② 思考・判断・表現 篆書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。	作品	・「臨石鼓文」を原本と比較しながら鑑賞し、形臨の末に至った原本にとらわれない自由な書きぶりを感じ取る。		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 主体的に創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	観察	・「臨石鼓文」が書かれた経緯や書風を理解する。 ・書風に即した用筆・運筆を意識して臨書する。		
9月～11月	隷書の学習1（乙瑛碑）	16	① 知識・技能 隷書の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体構成の技能を身につける。	作品	・「乙瑛碑」を鑑賞し、強調された波磔による重厚感のある書風を感じ取る。	作品の交流	
			② 思考・判断・表現 隷書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。	作品	・波磔など隷書の特徴的な用筆・運筆について確認する。 ・基本点画を繰り返し書き、蔵鋒や中鋒、波磔など、特徴的な用筆・運筆を習得する。		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 主体的に創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	観察			
11月～12月	硬筆の学習 隷書の学習2（曹全碑）	16	① 知識・技能 隷書の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体構成の技能を身につける。	作品	・「曹全碑」を鑑賞し、強調された波磔による重厚感のある書風を感じ取る。 ・波磔など隷書の特徴的な用筆・運筆について確認する。	作品の交流	
			② 思考・判断・表現 隷書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。	作品	・基本点画を繰り返し書き、蔵鋒や中鋒、波磔など、特徴的な用筆・運筆を習得する。		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 主体的に創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	観察			
1月～3月	硬筆の学習 メタルレリーフをつくろう	18	① 知識・技能 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	作品	・創作の手順に従い、これまで学んだ技法を生かし創作する	グループ交流	
			② 思考・判断・表現 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	作品			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。	観察			

指導時間数の計	70
---------	----

学校の教育目標	「一人一人が自立し、幸せに満ちた学校」、「社会に貢献できる幅広い人材の育成」 1 「自立貢献」を目指す理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実践する。 2 確かな学力と表現する力の育成を図り、生徒一人一人に明確な目標を持たせ、個性と自立心を伸長させる。 3 自制心、向上心、共感性等を育てる教育活動を通して、非認知能力の育成に努め、地域や社会に貢献できる心豊かな人間を育成する。 4 特別活動等の活性化と魅力ある学校づくりを推進し、地域から信頼され、選ばれる学校を目指す。 5 生徒ひとりひとりの人権を尊重し、生徒・職員が相互に人格を認め合ういい環境をつくる。
---------	---

教科の目標	○英語表現の理解を深め、場面に応じた英語を使用することができる(知識及び技能) ○文法や語いの知識を深め、様々な英語表現を使いこなすことができる(思考力、判断力、表現力等) ○異文化への興味・関心を高め、コミュニケーションの基礎を養う(学びに向かう力、人間性等)
-------	---

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)		
英語コミュニケーションⅡ		3	全日制・普通科・2学年(Ⅰ類)	Vista English Communication Ⅱ		
CAN-DOリストに基づく 年度末の学習到達目標		聞くこと(L) : 何が話題とされているかを理解し、情報や考えなどの要旨を理解することができる。 読むこと(R) : 教科書本文の大まかな内容をつかむことができる。 話すこと[やりとり](SI) : 相槌などの話し方を意識しながら身近な話題について意見を交換することができる。 話すこと[発表](SP) : 原稿などの準備をした上で、まとまった量のスピーチをすることができる。 書くこと(W) : 自分のことについて理由や根拠を挙げて2～3文程度の英文を書くことができる。				
時期 月 週 日	単 元・題 材 名	指導 時数	単元の目標	主な言語活動等	評価方法	各教科等横断的な資 質・能力の育成に関わ る他教科等との関連
4月 2週目	GET READY	4	・英文の基礎を理解することができる。 ・今までに学習した文構造や、不定詞、動名詞、受動態、比較などの文法を復習することができる。	基本的な文法事項を用いて、簡単な日常会話ができる。	・活動の観察 ・小テスト(パート毎) ・定期考査	論理表現Ⅰ
4月 3週～ 4週目	World Dance performances	6	・世界のさまざまなダンスについて理解することができる。 ・1年時に学習したbe動詞・一般動詞・助動詞の表現を使うことができる。	ダンスについて話し伝え合うことができる。ダンス大会について話し合ったりすることができる。	・活動の観察 ・小テスト(パート毎) ・定期考査 ・Writing課題 ・グループ発表	
5月 1週～ 2週目	A Piece of cake	5	・英語と日本語の慣用句について言語による表現違いを理解できる。 ・疑問詞節、if節、疑問詞+to不定詞を場面に合わせて使うことができる。	日本の慣用句を伝えたり発表することができる。	・活動の観察 ・小テスト(パート毎) ・定期考査 ・Writing課題 ・グループ発表	国語表現
5月3 週 ～4週 目	Quokka	5	・クオッカの魅力や特徴、抱えている問題などを理解できる。 ・使役動詞・知覚動詞を使い表現できる。	絶滅に瀕している動植物などについて話し合ったり伝えたりできる。	・活動の観察 ・小テスト(パート毎) ・定期考査 ・Writing課題 ・グループ発表	
6月1 週 ～2週 目	Designing stamps	4	・切手のデザイナーという職業を通して切手の魅力や職業観を理解できる。 ・形式主語・目的語のitを使用し表現できる。	日本の切手について紹介したり自分の考えや意見を自由に話し合ったりできる。	・活動の観察 ・小テスト(パート毎) ・定期考査 ・Writing課題 ・グループ発表	国語表現
6月3 週 ～4週 目	Look and Learn1,2	7	・疑問詞+不定詞、that(what, if)+主語+動詞、使役動詞、知覚動詞、itのいろいろな用法を理解して使うことができる。	学習した使役動詞、知覚動詞などを使って、身近な出来事を英語で表現することができる。	・活動の観察 ・小テスト(パート毎) ・定期考査 ・Writing課題 ・グループ発表	論理表現Ⅰ
7月1 週 ～3週 目	Mont Saint-Michel	10	・世界遺産モン・サン・ミッシェルの歴史や課題について表現できる。 ・現在完了進行形や過去完了進行形を用い身近な表現ができる。	世界遺産当てクイズなどの活動を通し、日本の名所などを伝え話し合うことができる。	・活動の観察 ・小テスト(パート毎) ・定期考査 ・Writing課題 ・グループ発表	日本史探究
9月1 週～2 週目	Smart Agriculture	4	・スマート農業の未来について理解することができる。 ・過去完了形や助動詞の受動態について理解して使うことができる。	日本の農業の課題や社会に役立つ科学技術などを話し合ったり紹介したりできる。	・活動の観察 ・小テスト(パート毎) ・定期考査 ・Writing課題 ・グループ発表	公共 日本史探究
9月3 週目	A Martial Art n Tatami	4	・競技かるたの世界観について学び魅力について理解することができる。 ・関係代名詞の制限用法や非制限用法について理解できる。	日本の漫画やアニメが世界中に広がった理由について考えを説明したり、話し合ったりすることができる。	・活動の観察 ・小テスト(パート毎) ・定期考査 ・Writing課題 ・グループ発表	日本史探究
9月4 週目	Look and Learn3	3	・これまでに学習してきた過去完了形、現在完了進行形、受動態について復習することができる。	学習した現在完了形、過去完了形などを使って、最近の出来事などを英語で表現することができる。	・活動の観察 ・小テスト(パート毎) ・定期考査 ・Writing課題 ・グループ発表	論理表現Ⅰ
10月1 週目～ 3週目	Street Performers	10	・ストリートパフォーマンスについて理解することができる ・分詞の形容詞的用法、分詞構文について理解することができる。	好きなミュージシャンや好きな曲について紹介したり、夢を叶えるために必要なことについて話し合ったりすることができる。	・活動の観察 ・小テスト(パート毎) ・定期考査 ・Writing課題 ・グループ発表	国語表現
10月4 週目～ 11月2 週目	The Culture of Selfies	10	・日常的に行われている自撮りの文化について理解することができる。 ・関係代名詞の制限用法、非制限用法について理解することができる。	自分の似顔絵を描き、自己紹介をしたり、自分を表現する方法について話し合ったりすることができる。	・活動の観察 ・小テスト(パート毎) ・定期考査 ・Writing課題 ・グループ発表	国語表現
11月3 週目～ 12月3 週目	Finland	12	・フィンランドの暮らしについて理解することができる。 ・関係副詞について理解することができる。	フィンランドのものについてその魅力を紹介したり、フィンランドでやってみたいことについて話し合ったりすることができる。	・活動の観察 ・小テスト(パート毎) ・定期考査 ・Writing課題 ・グループ発表	
1月2週 ～4週目	In Order to Live a Happy Life	9	・高校卒業後の人生を幸せに過ごすために何が必要なのかを考えることができる。 ・仮定法について理解して使うことができる。	別の人や生き物になったつもりで気持ちを表現したり、「幸せ」について話し合ったりすることができる。	・活動の観察 ・小テスト(パート毎) ・定期考査 ・Writing課題 ・グループ発表	国語表現
2月1週 目～3月 3週目	FOCUS+	12	・学習してきた分詞構文や、関係代名詞、関係副詞、仮定法について復習することができる。	学習した分詞構文、関係代名詞などを使って、身近な出来事を英語で表現することができる。	・活動の観察 ・小テスト(パート毎) ・定期考査 ・Writing課題 ・グループ発表	論理表現Ⅰ
指導時間数の計		105				

学校の教育目標		「一人一人が自立し、幸せに満ちた学校」、「社会に貢献できる幅広い人材の育成」 1 「自立貢献」を目指す理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実践する。 2 確かな学力と表現する力の育成を図り、生徒一人一人に明確な目標を持たせ、個性と自立心を伸長させる。 3 自励心、向上心、共感性等を育てる教育活動を通して、非認知能力の育成に努め、地域や社会に貢献できる心豊かな人間を育成する。 4 特別活動等の活性化と魅力ある学校づくりを推進し、地域から信頼され、選ばれる学校を目指す。 5 生徒ひとりひとりの人権を尊重し、生徒・職員が相互に人格を認め合ういじめのない環境をつくる。				
教科の目標		○英語表現の理解を深め、場面に応じた英語を使用することができる(知識及び技能) ○文法や語いの知識を深め、様々な英語表現を使いこなすことができる(思考力、判断力、表現力等) ○異文化への興味・関心を高め、コミュニケーションの基礎を養う(学びに向かう力、人間性等)				
科目名		単位数	課程・学科・学年		使用教科書名(出版社)	
論理・表現 I		2	全日制・普通科・2学年		EARTHRISE English Logic and Expression I (SUKEN SHUPPAN)	
CAN-DOリストに基づく 年度末の学習到達目標		聞くこと(L)：何が話題とされているかを理解し、情報や考えなどの要旨を理解することができる。 読むこと(R)：教科書本文の大まかな内容をつかむことができる。 話すこと〔やりとり〕(SI)：相槌などの話し方を意識しながら身近な話題について意見を交換することができる。 話すこと〔発表〕(SP)：原稿などの準備をした上で、まとまった量のスピーチをすることができる。 書くこと(W)：自分のことについて理由や根拠を挙げて2～3文程度の英文を書くことができる。				
時期 月 週 日	単 元・題 材 名	指導 時数	単元の目標	主な言語活動等	評価方法	各教科等横断的な資質・ 能力の育成に関わる他 教科等との関連
4月 2週目	はじめに	2	・中学校における基礎の確認	英語の語順や基本的な品詞の使い方を意識して、身近な出来事を英語で表現することができる。	・活動の観察 ・小テスト(パート毎) ・定期考査 ・Writing課題 ・音読テスト	国語表現
4月 3週～4 週目	Lesson1 Introduce yourself to your class	4	・クラスメートの名前や部活動などについて、英語で尋ねて発表することができる。 ・40語程度の英語で自己紹介文を書くことができる。	2人1組になり、相手の名前や部活動について聞く。聞いたものをまとめてクラスで発表をしたり、それをもとに自己紹介文を書く。	・活動の観察 ・小テスト(パート毎) ・定期考査 ・Writing課題 ・音読テスト	国語表現
5月 1週～2 週目	Lesson2 How do you spend your weekends ?	4	・時制を用いて休日にしたことなどについて英語で伝え合うことができる。 ・30語程度の英語で自分の休日の予定を書くことができる。	2人1組になり、お互いに休日にしたことなどを聞く。聞いたものをまとめてクラスで発表をしたり、自分の休日の予定などについての文を書く。	・活動の観察 ・小テスト(パート毎) ・定期考査 ・Writing課題 ・音読テスト	国語表現
5月3週 ～4週 目	Lesson3 Where did you go onvacation?	4	・適切な時制を用いて自分の旅行の経験などについて英語で伝え合うことができる。 ・40語程度で自分の旅行を報告するブログ文を書くことができる。	2人1組になり、お互いに旅行の経験などを聞く。聞いたものをまとめてクラスで発表をしたり、自分の休日の予定などについての文を書く。	・活動の観察 ・小テスト(パート毎) ・定期考査 ・Writing課題 ・音読テスト	論理国語 地理探究
6月 1週 ～2週 目	Lesson4 how can I get there ?	4	・mayやcanを用いてパートナーとルート案内し合うことができる。 ・mustやhave toを用いて40語程度の謝罪のメール文を書くことができる。	2人1組になり、お互いにルート案内などを行う。ペアで行ったものをクラスで発表する。また、見本に則って謝罪のメール文を書く。	・活動の観察 ・小テスト(パート毎) ・定期考査 ・Writing課題 ・音読テスト	国語表現
6月 3週 ～4週 目	Lesson5 Would you like to come with me ?	4	・wouldやcouldなどを用いて出席予定のイベントにパートナーを誘うことできる。 ・should have doneを用いて30語程度の後悔の文を書くことができる。	2人1組になり、出席予定のイベントにパートナーを誘い合う。ペアで行ったものをクラス全体で実演する。自分の後悔についての文章を書く。	・活動の観察 ・小テスト(パート毎) ・定期考査 ・Writing課題 ・音読テスト	国語表現
7月 1週 ～3週 目	Lesson6 Something really Japanese	5	・be動詞＋過去分詞の形を用いてパートナーと自分が買おうとしているものについて伝え合うことができる。 ・be動詞＋過去分詞の形を用いて祭りに誘うメール文を40語程度で書くことができる。	2人1組になり、自分が買おうとしているものについて伝え合う。ペアで行ったものをもとに自分が買おうとしている物について20秒ほどでクラスに発表する。また祭りに誘うメールの文章を書く。	・活動の観察 ・小テスト(パート毎) ・定期考査 ・Writing課題 ・音読テスト	国語表現
9月1週 ～2週 目	Lesson7 Do you do any volunteer activities ?	5	・to doの形を用いて自分が参加したいボランティア活動についてパートナーと伝え合うことできる。 ・To doの形を用いて自分の将来についてのレポートを40語程度で書くことができる。	2人1組になり、自分が参加したいボランティア活動について伝え合う。ペアで行ったものをもとに自分が参加したいボランティア活動について30秒ほどでクラスで発表する。また自分の将来についてのレポート文を書く。	・活動の観察 ・小テスト(パート毎) ・定期考査 ・Writing課題 ・音読テスト	国語表現 論理国語
9月3週 目	Lesson8 Let's enjoy school life !	2	・want+0+to doの形を用いて部活動についてパートナーと伝え合うことができる。 ・let[make]+0+ doの形を用いて学校行事についてのスピーチ原稿を40語程度で書くことができる。	2人1組になり、部活動について互いにインタビューを行う。ペアで行ったものをもとにインタビューの会話をクラスで発表する。また学校行事についてのスピーチ原稿を40語程度で書く。	・活動の観察 ・小テスト(パート毎) ・定期考査 ・Writing課題 ・音読テスト	国語表現 論理国語
9月4週 目	Lesson9 Are you eco-friendly?	2	・doing(動名詞)の形を用いて環境保護のためにできることについてパートナーと伝え合うことができる。 ・doing(動名詞)の形を用いて環境保護についてのスピーチ原稿を40語程度で書くことができる。	2人1組になり、環境保護のためにできることについて互いにインタビューを行う。ペアで行ったものをもとにインタビューの会話をクラスで発表する。また環境保護についてのスピーチ原稿を40語程度で書く。	・活動の観察 ・小テスト(パート毎) ・定期考査 ・Writing課題 ・音読テスト	論理国語 公共
10月1 週目～ 3週目	Lesson10 What sports do you like ? Lesson11 That's new to me!	6	・doing(分詞)などの形を用いてスポーツイベントや労働時間についてパートナーとインタビューし合うことができる。 ・doing/done(分詞)などの形を用いて自分が最近したスポーツや特定の野菜などについてのブログやパラグラフを40語程度で書くことができる。	2人1組になり、スポーツイベントや労働時間について互いにインタビューを行う。ペアで行ったものをもとにインタビューの会話をクラスで発表する。また自分が最近したスポーツや特定の野菜などについてのブログやパラグラフを40語程度で書く。	・活動の観察 ・小テスト(パート毎) ・定期考査 ・Writing課題 ・音読テスト	論理国語 公共
10月4 週目～ 11月2 週目	Lesson12 Which Nobel Prize winner do you admire most ? Lesson13 I'm interested in history	6	・who,whenなどの形を用いてノーベル賞受賞者や歴史上の偉人についてパートナーと伝え合うことができる。 ・who,whereなどの形を用いて自分が尊敬する人や歴史的建造物についてパラグラフを30～40語程度で書くことができる。	2人1組になり、ノーベル賞受賞者や歴史上の偉人について互いに伝え合う。ペアで行ったものをもとにクラスで発表する。また自分が尊敬する人や歴史的建造物についてパラグラフを30～40語程度で書く。	・活動の観察 ・小テスト(パート毎) ・定期考査 ・Writing課題 ・音読テスト	論理国語 日本史探究
11月3 週目～ 12月3 週目	Lesson14 Various countries around the world Lesson15What job are you interested in ?	6	・比較級や仮定法の形を用いて自分が行ってみたい渡航先や興味のある職業についてパートナーと伝え合うことができる。 ・who,whereなどの形を用いて2つの国の気候の違いや26歳の自分を想像した説明文についてを40語程度で書くことができる。	2人1組になり、自分が行ってみたい渡航先や興味のある職業について互いに伝え合う。ペアで行ったものをもとにクラスで発表する。また2つの国の気候の違いや26歳の自分を想像した説明文について30～40語程度で書く。	・活動の観察 ・小テスト(パート毎) ・定期考査 ・Writing課題 ・音読テスト	論理国語 公共
1月2週 ～4週 目	ディベート・ディスカッション	4	・これまでに習った表現やディベート・ディスカッション頻出の表現を理解し使用することができる。 ・ディベート・ディスカッションの進め方について理解し実際に行ってみることができる。	賛成・反対の立場や各グループに分かれて、話し合う題目について、論理的な理由や根拠、例などについて考えさせる。 実際にディベート・ディスカッションを行ってみて、出た意見・考えなどについてまとめてクラスで確認し、感想などを日本語と英語で書かせる。	・活動の観察 ・小テスト(パート毎) ・定期考査 ・Writing課題 ・音読テスト	論理国語 公共
2月1週 目～3 月3週 目	まとめ	12	・これまでに習った表現などについて、具体的場面を意識してペアで伝え合ったり、書いたりすることができる。	2人1組になり、これまでに扱った具体的場面について互いに伝え合う。また同じく具体的場面を意識して30～40語程度の文章を書く。	・活動の観察 ・小テスト(パート毎) ・定期考査 ・Writing課題 ・音読テスト	国語表現
指導時間数の計		70				

学校の教育目標	「一人一人が自立し、幸せに満ちた学校」、「社会に貢献できる幅広い人材の育成」 1 「自立貢献」を目指す理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実践する。 2 確かな学力と表現する力の育成を図り、生徒一人一人に明確な目標を持たせ、個性と自立心を伸長させる。 3 自制心、向上心、共感性等を育てる教育活動を通して、非認知能力の育成に努め、地域や社会に貢献できる心豊かな人間を育成する。 4 特別活動等の活性化と魅力ある学校づくりを推進し、地域から信頼され、選ばれる学校を目指す。 5 生徒ひとりひとりの人権を尊重し、生徒・職員が相互に人格を認め合ういじめのない環境をつくる。
---------	---

教科の目標	○家族や家庭生活に関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付けることができる。 ○生活の充実向上を図る力と実践的な態度を身に付けることができる。 ○家庭や地域の生活上の課題を見つけ解決する能力を育成する。
-------	---

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名（出版社）
家庭基礎	2	全日制・普通科・2年	家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍）

科目の目標	家族や家庭生活に関する基礎・基本的知識と技術の向上を図り、実生活・実社会で課題を見つけ解決する能力を育成する。
-------	---

時期 月 週 日	単 元・題 材 名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資 質・能力の育成に関わ る他教科等との関連
4 月 2 週目	1 章 生涯を見通す ・家庭科の学び方 ・学校家庭クラブ ・ホームプロジェクトについて ・自分らしい人生をつくる ・家族・社会との共生 ・生涯を見通す	2	① 知識・技能 ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。 ② 思考・判断・表現 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題を見出して課題設定し、解決策を構想し、実践し課題を解決する力を身に付ける。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 課題の解決に主体的に取り組む、改善し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	学習ノート グループ活動 発表 ワークシート	1 時間目：オリエンテーション ・ホームプロジェクト 2 時間目：人生を展望する。 ・青年期の課題 ・人生100年時代を生きる 各年代に想定されるライフイベントをワークシートに記入する。	・ライフプランを立て客観的に見直す。	
4 月 3 週目	・目標を持って生きる 2 章 人生をつくる ・人生をつくる	2	① 知識・技能 人の一生について、自己と他者、社会との関りから様々な生き方があることを知り自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。 ② 思考・判断・表現 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見出して、解決する力を身に付けている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 様々な人と協働し、よりよい社会の構築にに向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、自分や家族、地域の地域の生活の充実を図るための実践しようとしている。	将来設計プランシート学習ノート	1 時間目：人生は意思決定の連続 2 時間目：未来予想図を描く。 ・人生100年ライフコース	・自分に興味のある仕事や興味のあることについて学習ノートに書き出す。 ・自立とは何かについて考え、自分が今どの段階にいるのか考える。 ・多様化するライフスタイルを知る。 ・自身の結婚観についてグループで話し意見交換する。	・育児、介護休業制度 【男性の育児休暇取得率について】 ・日本国民の義務、雇用の仕組み（公共）
4 月 4 週目 ～ 5 月 1 週目	・青年期の自立と家族 ・家族、家庭を見つめる ・家族と法律	4	① 知識・技能 生涯発達の視点で青年期の課題を理解し、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭としかかとの関わりについて理解を深めている。 ② 思考・判断・表現 家族や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意志決定に基づき、責任を持って行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見だして課題を解決する解決する力を身に付けている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 青年期の自立と家庭・家族について、課題解決に主体的に取り組んだり、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	学習ノート	1 時間目： 2 時間目： 3 時間目：家族とは何か 4 時間目：家族と法律		・100年後の課題は何か ・家族に関する法律【憲法、民法、戸籍法】（公共）
5 月 2 週目 ～ 6 月 2 週目	3 章 子供と共に育つ	10	① 知識・技能 乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解している。 乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 子どもの健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見出し課題を解決する力を身に付けている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 子どもの生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、自分や家庭、地域の生活充実向上を図るために実践しようとしている。	学習ノート DVD視聴 保育人形実習 妊婦体験	1 時間目：命を育む 2 時間目：子どもの育つ力を知る。 3～4 時間目：身体、心の発達（DVD） 5～6 時間目：子どもと関わる（折り紙） 7 時間目：これからの保育環境（DVD） 8 時間目：子どもの権利と福祉児童虐待、社会的孤立、子どもの福祉 9～10時間：赤ちゃんがやってくる等の行事	・子育ての責任を地域社会の関りの視点から考える。 ・子育ての問題について話し合う。 ・妊婦体験を行い普段の生活とは異なる点を話し合う。 ・作品に対して、クラス全員が一言感想を記入する。	・身体の発達（保健） ・社会福祉（公共）
6 月 3 週目 ～ 9 月	6 章 食生活をつくる	16	① 知識・技能 ライフステージに応じた栄養の特徴や健康や環境に配慮した食生活について理解している。 食品の調理上の性質、食品衛生について理解している。 目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の伝承を学び健康や環境の配慮した食生活について問題を見出し課題を解決する力を身に付けている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	学習ノート DVD視聴 調理実習授業観察 調理実習授業観察	1 時間目：青年期の課題と食生活の変化 2～4 時間目：栄養素について 5～6 時間目：食品の選択 7～8 時間目：食事計画と調理の基礎 9～10時間目：実習（和食（切り方）一汁二菜） 11～12時間寝：日本の食文化と世界の食文化（DVD） 13～14時間目：これからの食生活 15～16時間目：実習（洋食）	・昨日の食事を思い出し学習ノートに記入し、改善点を考える。 ・食品を購入する際の添加物、輸入品の実態を知り、話し合う。 ・一人ひとりの適切な量の栄養素をノートに記入する。 ・班ごととコミュニケーションをとりながらレシピを確認し実習を行う。	・遺伝子組み換え（保健・公共） ・消化の仕組み（生物） ・アミノ酸・脂肪酸（化学） ・食品ロス ・年齢に応じた食事計画

10月 2週目 ～ 10月 4週目	4章 超高齢社会を共に生きる	6	① 知識・技能 高齢者の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解している。 生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について、問題を見出し課題を解決する力を身に付けている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、自分や家庭、地域の生活充実向上を図るために実践しようとしている。	学習ノート	1時間目：超高齢大衆長寿社会の到来 2時間目：高齢者の心身の特徴（DVD） 3時間目：高齢者体験 4時間目：これからの課題 5～6時間目：認知症サポーター養成講座（神栖市長寿介護課）	・身近な高齢者について発表し高齢者の心身の特徴や認知症について話し合う。	・人権の尊重（公共）
11月 1週目 ～ 11月 2週目	5章 共に生き共に支える	4	① 知識・技能 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 ② 思考・判断・表現 家族や地域及び社会の一員として自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見出し課題を解決する力を身に付けている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	学習ノート	1時間目：私たちの生活と福祉 2時間目：社会保険の考え方 3時間目：共に生きる（DVD） 4時間目：地域の防災について	・地域社会に住む一員として、少しでも良くするためには何ができるのか話し合う。	
11月 3週目 ～ 1月 3週目	7章 衣生活をつくる	12	① 知識・技能 ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解し、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集、整理ができる。 被服材料、被服構成及び被服衛生について理解し、被服の管理に必要な技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 被服の機能や快適性について問題を見だし課題を解決する力を身に付けている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 衣生活について課題の解決に主体的に取り組んだり、自分や家庭、地域の生活の向上を図るために実践しようとしている。	学習ノート 実習	1時間目：被服の役割を考える。 2時間目：被服を入手する。 3時間目：被服を管理する。 4時間目：文化と知恵 5～10時間目：実習（被服製作の基礎） 11～12時間目：これからの衣生活	・今後の衣生活について、消費者として購入から3Rまで考える。	・TPOに応じた衣服 ・環境汚染・再利用
1月 4週目 ～ 2月 1週目	8章 住生活をつくる	4	① 知識・技能 ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解している。 ② 思考・判断・表現 住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関りについて問題を見出し課題を解決する力を身に付けている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、自分や家庭、地域生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	学習ノート 住居プランニングシート	1時間目：住生活の変遷と住居の機能 2～3時間目：間取り図の読み方 4時間目：安全で快適な住生活の計画	・ひとり暮らしに必要なことを話し合う。 ・間取り図を読み取り、自分の優先順位や生活状況、安全対策等を考えながら住みたい家をグループで話し合う。	・住居の借用、売却（公共）
2月 2週目 ～ 2月 4週目	9章 経済生活を営む	5	① 知識・技能 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意志決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解しているとともに、生活情報を適切に収集・整理できる。 ② 思考・判断・表現 自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意志決定に基づいて行動することや責任ある消費について問題を見だして課題を解決する力を身に付けている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 消費行動と意志決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、自分や家庭、地域の充実生活の向上を図るために実践しようとしている。	学習ノート DVD視聴	1時間目：情報の収集、比較と意思決定 2時間目：購入、支払いルールと方法 3～4時間目：消費者の権利と責任 5時間目：生涯の経済生活を見直す	・新聞・テレビなどと同じような体験をしながらあるか、どのように解決したかグループで話し合い発表する。	生涯の生活設計 食品 住居 税金とその利用 経済の仕組み（公共）
3月 1週目 ～ 3月 2週目	10章 持続可能な生活	3	① 知識・技能 生活と環境の関りや持続可能な消費について理解している。 ② 思考・判断・表現 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について問題を見出し課題を解決する力を身に付けている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 持続可能なライフスタイルと環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、自分や家族、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	学習ノート 消費生活すぐろく	1～2時間目：持続可能な社会を目指して 3時間目：マネープランゲームでお金の流れを知る	・自らの行動が環境汚染につながることを理解し、環境にやさしい行動とは何か、実践できることを話し合う。	・環境汚染（保健・公共）
3月 3週目	11章 これからの生活を創造する	2	① 知識・技能 人の一生について、自己と他者、社会との関りから様々な生き方があることを知り自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。 ② 思考・判断・表現 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見出して、解決する力を身に付けている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 様々な人と協働し、よりよい社会の構築にに向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、自分や家族、地域の地域の生活の充実を図るための実践しようとしている。	学習ノート	1～2時間目：生活をデザインする 4月に立てたライフプランを振り返り客観的に見直し、今後の生活にどう生かすか考える。 ふり返り	・各自が学習ノートを確認し、ふり返る。 ・ライフプラン、ライフイベント等を見直し変更があれば訂正する。	
指導時間数の計		70					

学校の教育目標	「一人一人が自立し、幸せに満ちた学校」、「社会に貢献できる幅広い人材の育成」 1 「自立貢献」を目指す理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実践する。 2 確かな学力と表現する力の育成を図り、生徒一人一人に明確な目標を持たせ、個性と自立心を伸長させる。 3 自制心、向上心、共感性等を育てる教育活動を通して、非認知能力の育成に努め、地域や社会に貢献できる心豊かな人間を育成する。 4 特別活動等の活性化と魅力ある学校づくりを推進し、地域から信頼され、選ばれる学校を目指す。 5 生徒ひとりひとりの人権を尊重し、生徒・職員が相互に人格を認め合ういじめのない環境をつくる。
---------	---

教科の目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2)ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3)職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
-------	--

科目名		単位数	課程・学科・学年		使用教科書名(出版社)			
ビジネス基礎		2	全日制・普通科・2学年(Ⅰ類)		ビジネス基礎(実教出版)			
科目の目標		商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力と次のとおり育成することを目指す。 (1)ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2)ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 (3)ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。						
時期 月 週 日	単 元・題 材 名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資 質・能力の育成に関わ る他教科等との関連	
4月～ 5月	第1章 商業の学習とビジネス 1. いざ、ビジネスの世界へ 2. 私たちの社会とビジネス	10	① 知識・技能 商業を学ぶ重要性和学び方、ビジネスの概要について理解している。	考查	商業を学ぶ重要性和学び方、 ビジネスの概要について理解する。 ビジネスの役割について、企業 の社会的責任や、環境、エ ネルギー、食料などの社会的 な課題及びビジネスの動向・ 課題について具体的な事例と 関連付けて学ぶ。 実践する力、職業人として必 要な豊かな人間性、他者と協 働する力を身に付ける。	グループ学習		
			② 思考・判断・表現 商業を学ぶこと及びビジネスの意義と課題につ いて、経済社会の持続的な発展と関連について考 えている。	提出物				
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ビジネスの基礎的な事項について自ら学び、ビ ジネスに主体的かつ協働的に取り組んでいる。	グループワーク 提出物				
6月	第2章 ビジネスとコミュニケーション 1. コミュニケーション 2. ビジネスマナー 3. 情報の入手と活用	8	① 知識・技能 ビジネスにおける信頼関係構築について実務に 即して理解するとともに、関連する技術を身に付 けている。	考查	ビジネスにおける信頼関係 構築の意義と重要性を学び ぶ。 ビジネスマナーの意義を理 解し、場面に応じて考え、活 動できる力を身に付ける。 企業活動における情報の重 要性について理解し、情報の 活用及び評価・改善を行う。	グループ学習	国語	
			② 思考・判断・表現 ・ビジネスの場面を分析し、ビジネスにおいて他 者への対応について考えている。	提出物				
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・情報を入手して活用し、評価・改善している。 ビジネスに主体的かつ協働的に取り組んでいる。	グループワーク 提出物				
7月	第3章 経済と流通の基礎 1. 経済の仕組みとビジネス 2. 経済活動と流通	6	① 知識・技能 ・経済と流通について経済社会における事例と 関連付けて理解している。	考查	経済の仕組みと流通の必要 性について理解する。 経済の基本概念、流通の役 割など経済と流通に関する知 識を基盤として、流通に関 する課題を発見し、その解決 方法を考える。 流通を支える組織の一員と しての役割を果たすことが できる力を身に付ける。	グループ学習	地歴・公民	
			② 思考・判断・表現 ・経済と流通に関する課題を発見し、科学的な 根拠に基づいて課題への対 応策を考えている。	提出物				
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・経済と流通について自ら学び、経済の基本概 念を踏まえ、流通と流通を支 える活動に組織の一員とし て主体的かつ協働的に取り組 んでいる。	グループワーク 提出物				
9月～ 10月	第4章 さまざまなビジネス 1. ビジネスの種類 2. 小売業 3. 卸売業	12	① 知識・技能 ・ビジネスの種類と流通や流通に関わる様々な ビジネスについて、経済社会における事例と 関連付けて理解している。	考查	ビジネスの種類について理 解し、流通や流通に関わる様 々なビジネスについて学ぶ。 流通や流通に関わるビジネ スに関する知識を基盤とし て、流通や流通に関わる様 々なビジネスに関する課題 を発見し、その対応策を考 える。 流通や流通に関わる組織の 一員としての役割を果たす ための力を身につける。	グループ学習	地歴・公民	
			② 思考・判断・表現 ・流通や流通に関わる様々なビジネスに関 する課題を発見し、科学的な 根拠に基づいて課題への対 応策を考えている。	提出物				
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・流通や流通に関わる様々なビジネスにつ いて自ら学び、これらの組織 の一員として主体的かつ協 働的に取り組んでいる。	グループワーク 提出物				
11月	第4章 さまざまなビジネス 4. 金融業 5. 情報通信業	6	① 知識・技能 ・ビジネスの種類と流通や流通に関わる様 々なビジネスについて、経済社会にお ける事例と関連付けて理解している。	考查	ビジネスの種類について理 解し、流通や流通に関わる様 々なビジネスについて学ぶ。 流通や流通に関わるビジネ スに関する知識を基盤とし て、流通や流通に関わる様 々なビジネスに関する課題 を発見し、その対応策を考 える。 流通や流通に関わる組織の 一員としての役割を果たす ための力を身につける。	グループ学習	地歴・公民	
			② 思考・判断・表現 ・流通や流通に関わる様々なビジネスに関 する課題を発見し、科学的な 根拠に基づいて課題への対 応策を考えている。	提出物				
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・流通や流通に関わる様々なビジネスにつ いて自ら学び、これらの組織 の一員として主体的かつ協 働的に取り組んでいる。	グループワーク 提出物				

11月 ～12 月	第5章 企業活動の基礎 1. ビジネスと企業 2. マーケティングの重要性 3. 資金調達 4. 財務諸表の役割 5. 企業活動と税 6. 雇用	10	① 知識・技能 ・企業活動について経済社会における事例と関連付けて理解している。 ② 思考・判断・表現 ・企業活動に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・企業活動について自ら学び、企業活動に関する事例などを踏まえ、企業活動に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	考查 提出物 グループワーク 提出物	企業活動の形態と組織、マーケティングの重要性と流れなど企業活動に必要な知識を学ぶ。 企業活動に関する知識を基に、企業活動の動向など、企業活動に関する課題を発見し、その対応策を考える。 企業活動の展開について、組織の一員としての役割を果たすことができる力を身につける。	グループ学習	
12月	第6章 ビジネスと売買取引 1. 売買取引の手順 2. 代金決済	4	① 知識・技能 ・取引について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身につけている。 ② 思考・判断・表現 ・取引に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・取引について自ら学び、適切な契約の締結と履行に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	考查 提出物 グループワーク 提出物	売買取引、代金決済など取引に関する知識や技術を学ぶ。 取引に関する知識や技術を基に、実務における取引に関する課題を発見し、その対応策を考える。 契約の履行と締結について、組織の一員としての役割を果たすことができる力を身につける。	グループ学習	地歴・公民
1月～ 2月	第7章 ビジネス計算 1. ビジネス計算の基礎 2. ビジネス計算の応用	10	① 知識・技能 ・ビジネス計算について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身につけている。 ② 思考・判断・表現 ・計算方法を理解し、実際にどういった場で活用できるかを考える。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・ビジネス計算について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	考查 提出物 グループワーク 提出物	ビジネス計算に関する知識や技術を学ぶ。 ビジネス計算について学び、その知識と技術で組織の一員としての役割を果たすことができる力を身につける。	グループ学習	数学
2月～ 3月	第8章 身近な地域のビジネス 1. さまざまな地域の魅力と課題 2. 地域ビジネスの動向	4	① 知識・技能 ・さまざまな地域のビジネスについて理解している。 ② 思考・判断・表現 ・近な地域のビジネスに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて、ビジネスの振興策を考え、実施及び評価・改善を行っている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・身近なビジネスについて自ら学び、ビジネスの振興による地域の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	考查 提出物 グループワーク 提出物	さまざまな地域の魅力と課題、地域ビジネスの動向について学ぶ。 さまざまな地域のビジネスに関する知識などを基に、身近な地域のビジネスに関する課題を発見し、その対応策を考える。 ビジネスの振興による地域の発展について、組織の一員としての役割を果たすことができる力を身につける。	グループ学習	地歴・公民
指導時間数の計		70					